京城日報

十四日夕刊 (朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 [illegible]
廣告料金 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

○支那商人ボイコツト煽動

支那商人は松花江碇泊中の汽船に對しボイコツトを煽動しつゝあるが右は同汽船が露人の手より日本人の手に移らんとするを虞れ是を排斥せんとするにありと傳へらる(哈爾賓電報)

○後藤外相の聲明

支那留學生歸國に覺書交付

十三日正午後藤外相は支那留學生歸國問題に關し訪問陳情せる寺尾法學博士等及び各關係學校代表に對し左の覺書を交付し外務省よりも同日午後同樣の聲明を發表せり、後藤外相の說明に依れば「日支兩國は現に聯合國側の與國として參戰し而も日を追うて獨逸勢力の加はりつゝある露國殊に露領に於ける形勢に鑑み此際日支共同して敵の防禦の計畫を樹つるは蓋し喫緊事に屬するを以て日支共存、東亞全局の保持の根本義に副ふの途なり目下進行中の日支軍事協商は專ら此趣旨に基くものにて斷じて此目的の範圍外に亘る何等の條項をも含むものに非ず而して事既に戰時中に於ける敵軍事行動に關するものなるを以て遺憾乍ら其の內容は是を公表するを得ずと雖も或る支那新聞紙乃至支那に於ける外字新聞紙等の記事にして前述の趣旨目的以外の事項を揭記せるものは何れも皆虛構捏造に係る無根の報道なり」(東京特電)

○國勢調査と總督府臨時職員

十四日勅令第百三十七號を以て國勢調査に從事せしむる爲め朝鮮總督府に臨時職員を置くの件を公布し即日施行されたるが右は統計官專任一名、及び屬三名を置くものなり(東京特電)

○上院議員選擧

來る七月十日執行の貴族院伯子男爵議員選擧に於て選擧す可き員數に關する詔書十四日官報にて公布されたり即ち伯爵二十名、子爵七十三名、男爵七十三名なり(東京特電)

◆久振に來京のハリス博士

朝鮮にお馴染のハリス博士は(メソヂスト教會の傳道局長)坂龜治氏を伴へて十四日朝南大門驛着の列車で久方振に入京された驛には多數の出迎へがあつた

○河野醫官通過

瑞西留學中の總督府醫院醫官小兒科河野衛氏は十四日朝釜山着直に十時半發列車にて京城に向へり(釜山特電)

◎總督鍾城出發

鍾城に一泊せる長谷川總督は十四日朝穩城に向け出發したり

◎總監都督招待

山縣政務總監は十四日午後零時半政務總監官邸に中村關東都督を招待し午餐會を催ほせり

◎學資支給改正

朝鮮總督府附屬臨時小學校敎員養成所生徒學資支給規則改正の件は十五日府令を以て發布即日施行さるべし

◎佛生絲輸入制限

當局佛國政府生絲輸入特許の件に關しては既記の通りなるが更に本件に關し同國里昂駐在領事の報告に據れば佛國政府に於ては先般日本支那、英領印度及び北米合衆國より來る生絲の輸入制限當年額を四百萬法と限定せしが佛米兩國に於ける生絲の輸入特許登錄額は既に輸入割當年額に達せるに付右に關する新特許の申請は最早受理せられざる事となれりと當局は發表せり

◎定例長官會議

十四日午前十時より總督府第一會議室に於て定例長官會議を開き山縣政務總監以下各部局長官參集諸般の政務に就き協議を遂げたり

◎測候所增設

全羅北道全州に全州測候所及び平安北道楚山に楚山測候所を新設すべき旨十五日附府令を以て發布即日より施行さるべきが右は總督府に於ける觀測機關は本府觀測所の外僅かに十一箇所の附屬測候所あるに過ぎざるを以て氣象觀測上遺憾尠からざるに依り今回之が增設を見たるものなり

◎朝鮮陸軍の隨意契約

朝鮮駐箚軍司令部に於て朝鮮師團の營繕及び初年度調辨經費支辨に屬する工事施行の爲朝鮮にて木材煉瓦セメント及瓦の買入れをなす時は隨意契約に依る事を得る旨七日附勅令を以て公布即日實施されたり

◎戰時利得稅令要旨

當局者談

▲納稅義務者 戰時利得稅令は十三日制令第六號を以て公布されたが、其要旨は次の通りである、即ち本令に依る納稅義務者は朝鮮に住所又は一年以上居所を有する者たることを原則とし、朝鮮以外の地に住所若くは居所を有する者、又は朝鮮に居所を有するも未だ一年に達せざる者にして其の朝鮮に於て有する資產又は營業より生ずる利得あるものに對しては其の利得のみに對して課稅するのである

▲課稅物件 (一)所得稅法に依り所得稅を課すべき法人の利得(二)船舶又は鑛業に關する權利若くは設備の賣却に因る個人の利得にして其金額三千圓以上のものに限定し一般個人の所得に對して課稅せざるは內地戰時利得稅法と異る所である、尚內地及び臺灣には戰時利得稅法を施行せらるゝのであるから、同法に依り課稅せらるゝ利得に付ては本令に依り課稅せらるゝことはない

▲稅率 法人の所得に在りては利得金額の百分の二十、個人の利得に在りては利得金額の百分の十五、即ち內地戰時利得稅法所定の稅率と同一である

▲算出法 法人の利得金額は戰時事業年度即ち大正七年一月一日以後に終了したる事業年度の所得稅を課すべき所得金額を平時事業年度即ち大正三年七月三十一日以前二年內に終了したる事業年度の所得に付、其の當時の所得稅法の規定に依り算出したる平均所得金額に對比し、戰時事業年度の所得金額が平時事業年度の平均所得金額より增加したる場合、其增加額中平時事業年度の平均所得金額の百分の二十を控除したる殘額といふことに成るのである、これは戰時事業年度の所得金額が、平時事業年度の平均所得金額を超過するときは其超過額は全部利得金額と見做し得べきもの丶樣であるが事業經營方法、又は一般經濟界の進展に依り漸次利盛を增進するは普通の狀態であるからして、其增加利益を平時事業年度の平均所得金額の百分の二十と見て此分を控除したものである、尚所得金額の多寡に關係があるのは資本金額の多寡に關係があるのは無論であるから、戰時事業年度の資本金額が平時事業年度の資本金額に比し增減あるときは、其所得金額を對比するは妥當でない、由て此の場合には平時事業年度の平均資本金額に對する平均所得金額の割合を、戰時事業年度の資本金額に乘じたる金額を以て、平時事業年度の平均所得金額とする、又戰前に於ける企業利廻りは資本金額に對し凡そ年額百分の十に相當するを以て平時事業年度の平均資本金額に對する平均所得金額の割合が年額百分の十に達しないとき又は大正三年八月一日以後第一次の事業年度終了し平時事業年度の所得金額なき場合には資本金額の百分の十を以て平時事業年度の平均所得金額として計算するのである、船舶又は鑛業に關する權利若くは設備の賣却に因る個人の利得金額は、其の賣却金額より取得價格其の他必要と認むる價額を控除したる金額とす

▲施行期間 戰時利得稅令の施行期間は法人に就ては大正七年一月一日を含む事業年度分より、個人に付ては大正七年分より之を適用し法人に就ては講和條約調印の日の屬する年の末日を含む事業年度分限り個人に就ては其の年分限り之を廢止されるものである

◎管理米の朝鮮移入

現行法にて不可能=政府は考慮中

京城某大商店に對し神戶の關係商店よりの入電によれば『神戶商業會議所に於ける農商務省外米管理官の說明によれば政府は目下賣下外米の朝鮮移出に付考慮中なり或は朝鮮にも內地同一の管理令を施行するやも圖り難し』と言明せりとあり結局右の電報は明らかに管理令により安價となりし賣下外米は現行法上朝鮮に移入し得ざる譯にて之れを移入せんとするには朝鮮に外米管理令の實施を見るか若くば外米管理令の一部を改正し朝鮮移出入を認容する事とする外なからんと稱さる

▽朝鮮と管理令 實施は困難乎

右の電報によれば政府は朝鮮にも外米管理令を實施するやも圖り難き模樣なるが右に付某有力者の談によれば第一朝鮮は外米管理令を實施してまで米價の低落を圖る必要ありや疑問とすべし蓋し人爲的に朝鮮の米價を引下ぐる如き施設を加ふる事は

▲朝鮮の財界 より云へば避けて貰ひたき方ならん又假りに朝鮮の米價を引下ぐる必要ありとするも別に外米管理令の實施をなさずとも內地に於ける管理令の運用を徹底的にすれば右による米價低落の影響を受け自然鮮米も低落し來るべく現に既に若干內地米安の影響を受けつゝある也、更に又之れを總督府の財政より見るも實施困難と云ふを當れりとすべし何となれば朝鮮に於ける米價の低落を企圖せんとせば少なくも

▲五十萬石 內外の外米を入れざれば効果は舉らざるべし然るも五十萬石の外米を內地の例により補償する事とせば一石五圓と見て二百五十萬圓を要する勘定にて到底總督府にさる財源を見出す事は六ケしかるべく事實それ程の必要はなしと云ふを至當とせん

◎灌漑萬町

兩水利組合の協調成る=

全北臨益北部水利組合に隣接せる臨沃水利組合は從來水源地不確實にして蒙利地灌漑の點に於て遺憾少なからざりしが同組合理事者は今回臨益北部水利組合理事者と協調の上

▲臨益水利 の貯水池腰橋堤に大擴張を行なひその增加水量にて臨沃水利蒙利地にも通水する事に纏り目下總督府に出願の準備中なるが認可を經れば直ちに工事を進め本年の水田より用水すべく計畫の要領は現臨益北部水利貯水池腰橋堤の堤防を約五間方高め一方貯水池面積八百町歩內外なるを新に三百町歩を加へ一千一百町歩として高山川より流れ來る貯水量を激增せしめ又通水溝の擴張を行はんとするにあるがその結果臨益北部水利組合の蒙利地現在の

▲三千町歩 は約一千町歩を擴張する事となるべく又臨沃水利組合の現在四千町も若干增加し結局約一萬町歩弱の灌漑を腰橋堤の貯水により行はんとするにありその結果全北の農產上には著大の收益增あるべし尙ほ工費は約七十萬圓を要する見込みにて右は多分東洋拓殖會社金融より融通を受くる事となるらん

◎手形回收進捗

本月上旬より朝鮮銀行本支店農工銀行金融組合その他に於て鮮銀小額手形の回收をなしつゝある事は既報の如きが十四日までの所その鮮銀への引揚高は十六萬三千圓に上り右の外農銀金融組合等にて回收せるも猶ほ鮮銀に送致し居らざるもの少なからざる見込みにて實際は二十萬圓近くの引上げとなり居るべく一般の流通小額券は漸次政府發行のもの增加しつゝあり

◎市街地稅及酒稅

京城府に於ける大正七年度第一期諸稅徵收狀況を聞くに朝鮮酒稅々額一萬三百四十二圓にして法定納期たる四月三十日迄に完納市街地稅納定人員二萬八百四十九人此の稅額八萬九千百三十七圓にして納入人員一萬五千八百四十九人稅額七萬七百五十三圓八十二錢此の收入步合人員に於て七割五分五厘稅額に於て七割九分九厘を算し好成績を示せり而して未納者千七百人稅額六千九百九十五圓に對しては十二日附を以て督促狀を發送したるが其の指定納期日は十八日なりと

◎鮮銀券稍收縮

五月五日より十一日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は六千百二十萬四百九十七圓にして內正貨準備發行平均高二千零七十七萬餘圓保證準備發行平均高四千零四十二萬餘圓となり週末に於ける發行高は六千零六十萬三千五百五十三圓を算し若干收縮傾向を示せり

◎雄基丸買船

朝鮮郵船會社にて兵庫東洋物產會社より購入したる千賀丸(七百餘噸)は十四日門司にて山田船舶監督出張賣主より受渡しを受くる事となりたり尙ほ朝郵にては該船を釜山雄基間乙線に就航せしめ船名は既報の如く雄基丸と改むる由

◎憲兵隊異動

五月九日附を以て朝鮮駐箚憲兵隊に左記の通り異動ありたり

憲兵大尉 平田鐵次郎 鏡城憲兵分隊附を免じ義州憲兵隊附を命ず
同 大尉 福田義雄 平壤憲兵隊附を命ず
同 中尉 齋藤繼述 平壤憲兵隊附を命ず
同 中尉 齋藤美夫 平壤憲兵隊附を免じ海州憲兵隊附を命ず
同 中尉 渡邊幹 鏡城憲兵隊附を命ず

◎現在郵便局所數

大正七年三月末現在全道郵便局所數は六百十六箇所にして內局百八十、所三百四十二、取扱所九十三、電信電話一なりと

◎在鮮登簿船舶數

朝鮮在鮮登簿船舶現在數を聞くに汽船八十二隻三萬六千七百四十噸、帆船二百九十二隻八千八百八十一噸合計三百七十四隻四萬五千六百二十一噸なり之を前年に對比する時は三十三隻を增加し噸數に於て一千七百六十三噸を減せり

◎京畿金融理事會議

本月二十七日より三日間京畿道構內宣化堂に於て京畿道地方金融組合理事會議を開催す可しと

◎都督總監訪問

東上の途次十三日夜入京したる關東都督陸軍中將中村雄次郎男は惠藤副官を隨へ十四日午前十一時總督府に山縣政務總監を訪ひ入京の挨拶を爲せり

▲都督出發

中村關東都督は十四日午後七時五十分南大門驛發列車にて出發東上すべし

◎井上博士來朝

文學博士井上圓了氏は曩に東洋大學、京北中學及び京北幼稚園等を開設し育英事業に從事しつゝありしが明治三十九年之等の諸學校を後繼者に讓り專ら國民道德の普及を計る目的にて國民道德普及會を設立し日本全國を巡遊し講演を爲しつゝありしが既に內地の大部分及び臺灣の巡遊を了へたるを以て今回總督府囑託として朝鮮に渡り二十六日京城に來着四日間滯在各所にて講演の後平安南北道、黃海道を巡回し夫れより元山咸興に至り引返して更らに南鮮地方を巡遊し七月十一日頃內地へ歸還の豫定也

▲日程 井上圓了博士の京城に於ける日程左の如し

▲二十六日 午前九時二十五分南大門驛着、午後一時より京城婦人會にて講演、三時より朝鮮教育研究會、雜誌朝鮮及滿洲社主催にて京城高等女學校に於て一般講演▲二十七日 午前九時より京城高等女學校にて同校生徒及京城女子技藝學校生徒の爲め講演、午後一時半より京城醫專學校にて講演、同四時半より龍山鐵道俱樂部にて講演▲二十八日 午前九時より京城中學校にて講演、午後二時より南山本願寺に於て講演、同四時より遞信局にて講演▲二十九日 市內視察

◎光明師通過

大谷光明師は裏方紀子同伴十六日奉天を京城通過釜山に向ふ可し

◎金久保少將出張

步兵第四十旅團長金久保萬吉少將は軍司令官檢閱隨行の爲め七日間の豫定を以て十三日出發大邱大田へ出張せり

◎川上東拓理事歸任

久しく東上中の所十四日午後九時南大門驛着歸任すべし

□化粧品商視察團に望む

槐翁

○最近我が朝鮮に目を注ぐもの、益々多く、各種の視察者、觀光客を迎ふるは、朝鮮の前途に向つて、眞に喜ばしいことである。斯く多數多方面の人士に依りて、各々異りたる觀察を遂げて貰ふことは、朝鮮の進步發展を促進する所以のもので、吾人は、此種の團體を迎ふる每に、殊に其感を深うするものである。

○朝鮮は何れの方面より見ても、大なる將來を有つて居ることは、各方面の專門家に依りて、夙に認められて居る處であつて、商工業家に取りては、殊に看過すべからざる大華客の地と謂はねばならぬ。然るに、今日までは純然たる商工業者に依りて、組織された視察團を迎ふるに至らなかつたので、吾人は、少からず遺憾として居つたが、今回東京大阪地方の有力なる化粧品卸賣商の鮮滿視察團の成るを迎へたのは、吾人の眞に欣喜に堪へぬ所である。

○吾人は、此機會に於て、一行の諸君に向つて、其の所感と希望の一端を述べて置きたい。支那の視察を了へて來た諸君は、支那に於ける獨逸人の遣り方に就て、熟々感ずる處があつたであらう。何事も徹底的な彼等の遣り方には、敵ながらも感服せねばならぬ。彼の獨逸人が支那に賣り込む化粧品就中石鹼の如きものが、如何にして製造されたかを知るものは、彼等が如何に注意深く、徹底的なるかに驚くであらう。

○彼等が、其製造に當りて、最も苦心するのは、其土地の人氣に適するには如何にすれば可なるかの問題である。それには其の土地の氣候、水質等に注意を拂ふことが最も緊要なことであるとせられて滿洲向の品は、滿洲の土地で、滿洲の水を利用して作らねばならぬ、南支那向のものは、南支那で、蒙古向の者は、蒙古に於て作らねばならぬと云ふ見地から製造せられたものであつた。

○之れに反して、日本の製品は、其土地の氣候や水質を無視して、內地で製造せらるゝ、優良品なれば他國に於ても喝采を博するものであるとの、極く淺薄な見地から製造さるゝので、日本製品は乘りが惡いとか、垢が落ちぬとか、とケチを付けられて、多くは豫想に反して人氣に投せないことがある。而かも道間の消息に通じないものは、動もすれば日貨排斥など、騒ぐこともあるが、これは斯界の人の大に注意せねばならぬことではあるまいか。

○諸君は之を機會として、我が朝鮮及び滿洲に、其の製造工場設置の計畫を立てよ。而して鮮滿の氣候、風土に適するものを出せよ。販路擴張の如きは、寧ろ末の問題として置いても差支ないものである。若し諸君にして、斯かる意向あるに於ては、吾人も及ばずながら相當の盡力をして見たいと思ふ。斯くて外國の製品を、我東洋より驅逐するに至らば、豈に愉快ではなからうか。

口儒城溫泉より

虎耳

大田より自動車に乘り三十分にて到着、梅の家の二旅館あり、溫泉透明にして心地佳し、目下此處にて電燈力發成中に候(十三日)

四面青田溫泉煙立て春行く日
春の宵水田にも來る川千鳥

◎石垣朝郵營業課長

釜山の朝鮮郵船會社支店長より本社營業課長に轉じたる石垣孝治氏は來る二十日着任の豫定なりと

◎石川朝郵釜山店長

朝鮮郵船會社の元山出張所長より釜山支店長に轉じたる石川八十郎氏は十四日夕刻元山より來京直ちに赴任する由

人事消息

▲湯村辰二郎氏(總督府試補) 京畿道北部內へ出張を命ぜらる(十三日附)
▲綱島佳吉氏(東京番町教會牧師) 入京中の處十四日午前南大門驛發歸東
▲所澤視察團 十五日午前九時三十五分南大門驛發退京

酒前茶後 (一)

◆快男子蟬代野夫進勝進擊士氣昂り將に齊多に迫らんとする痛快也
◆彼が齊多を占領すれば彼正に西伯利の覇者此一戰が天王山也努よ
◆獨逸に脅され過激派に破壞されたる露都は次は餓鬼道に落ち慘憺
◆獨逸に乘せられ大戰の張本人なりし墺國も亦國民饑餓に泣く悲慘
◆一は腹白小僧の如く一は愚直の老人に似たり此結末が又た一問題
◆利非乃好漢に獨逸秘密外交を發て辛辣奸策の內幕を天下に曝け出
◆今度は鈴須泥夫の陰謀世報飜譯さる斯なりては獨の言譯も無用也
工賃一部を職工に拂ひ大部を貯償に應ぜしむるは獨窮餘の經濟
◆國家と個人を一體とし他迄戰勝せずんば破產の北なきに至らしむ
◆是一方は國家を利し一方は職工を激勵の法獨の國家主義や至微至細
◆習志野の獨俘虜鷄卵百個の賜物を受や一個も食せず七十個を賣る
◆而して其金にて巢鳥二羽を求め卅個を孵化し餘は食後の殘物を與
◆獨人の至れり盡せる鳥渡他人の及ざる處獨の頑強久效に源すべし
◆嚴村大阪に來て隊候伺の某銀行頭取に銀行整理の經緯を述ぶ
◆其最後に至て曰く「[illegible]業は順調[illegible]門前雀羅を張るの好況」には驚[illegible]
某成金又神戶に案內して曰く「[illegible]」と鼻の間也是非大事の勞を乞ふ
◆嚴村之を聞て啞然十方に來る譯[illegible]特別の學問を要すべしと嘆息又嘆

時間表

[illegible]

十一月一日現行

陸大學生の戰史旅行
淨法寺中將以下職員學生七十三名
黄塵に吹かれつゝ文官屯の視察

陸軍大學生の戰跡視察團一行七十三名は毎年の恒例により十一日朝奉天着、十二日の朝は汽車で北方七哩ばかりの文官屯驛に赴き

◇同處で日露戰役に記念さるべき乃木軍奮戰の跡を視た、當日は蒙古より吹き至る黄塵萬丈、砂礫皿をうつの日であつたが、一行は親しく當年の戰跡を視察し當時露軍の退路を斷つたわが最左翼第九師團の勇戰の跡を視た、一行は十三日朝北行列車にて向ひ更に公主嶺、長春を視察する筈

◇歸途は四平街より鄭家屯に入り更らに安奉線の戰跡を訪れて朝鮮經由歸京の筈である、一行中には陸軍大學校長淨法寺中將以下阿部砲兵中佐、五味步兵中佐、森騎兵中佐等の兵學教官もあり職員七名、學生六十名、下士以下六名合計七十三名の團隊である、奉天までは

◇二日大連上陸以來旅順、金州、得利寺、遼陽、沙河の見學を試みたのであるが何れも平素學校で研究して戰史を實地に視るのであるから非常に專門的な有益な旅行だといふ(奉天)

熱心な視察振り
―化粧品商視察團の入京
倭城臺―商品陳列館―本社訪問

東京大阪の化粧品、貿易商を以て組織され松澤常吉氏を團長とした鮮滿視察團の一行二十一名は豫定の通り十四日午前八時南大門着の列車で入京、京城の同業者及び本社員等多數の出迎へを受け赤地に白く『化粧品商視察團』と染め拔いた

◇小旗を翳した腕車を聯ねて一先づ巴城館に旅裝の紐を解いた、一行は此處で朝食を攝ると早速持ち前の視察眼を光らせ倭城臺に登つて京城市中の大觀を一眸の下に收め踵を回して商品陳列館を訪問する、香記の案內で階上階下を隈なく巡覽し何れも手帳を出して說明の要點を一々筆記すると云ふ熱心さ

◇農工業の發達振りには非常に感服したらしく中には『僕は朝鮮米を常食にして居るが却々美味いよ』と云ふ鮮米讃美者もあり鮮米の生產額千二百萬石其三分の一は內地へ移出されると聞いて『吾々も案外朝鮮米を澤山食つてるね』と擦く人もある、此外陸地棉織物なども眼を惹いた、誰やらがウンと一つ大きく首肯いたのは好い

◇有利な事業の藍を見付けたのではあるまいか、一行が本社を訪問したのは午前十一時頃直ちに來賓閣に招じて茶菓を饗應した、阿部社長の歡迎の挨拶松澤團長の謝辭があつて雜談數刻夫れから社內を一通り巡覽して美術品製作所に向つた

▲『日光以上だ』景福宮の參觀

本社を辭した化粧品視察團は夫から直に美術品製作所と景福宮を視察したが例に依つて却々熱心なもの、美術品製作所では皆々陳列の美術品の精巧なるに注目を拂ひ之が細工

◇悉く鮮人子弟の細工だと聞いて『器用なものだ』と讚嘆する中には財布の紐を解きかけた者もあつたが團體行動中は買物一切罷りならぬと云ふ內規を思ひ出して『エヽ畜生々々』―景福宮に著くと同技師が早速一同を

◇總督府廳舍の模型前に導き總經費が三百萬圓で大正十二年迄に完成する豫定ですと說明し其から勤政殿、慶會樓、交通館等に案內したが純朝鮮式の建物の壯麗なのには一同愕きながら感服し口を揃へて『日光以上だ』と褒めそやす、中には

◇珠簾丹碧の美しい彩色を見て『化粧がケバ〳〵しいやうだが自然との調和が好い』と飛んだ處にお化粧を振り廻す者もあり慶會樓では一本二本と石柱の數を算へて『恰度四十八本ある』頭腦大きな石を何處から集めたのだらう』といふかしき顔

◇化粧品商視察團の入京―手前が松澤團長

大飛行場
五十萬坪の新設
福岡縣下に

陸軍の新飛行機根據地として福岡縣に五十萬坪の大飛行場を新設すべしと(大阪特電)

支那學生連
旅費に困つた
華商に泣き付く

東京の支那學生續々引揚げ神戸大阪に屯して川口の華商連へ旅費の工面を無心み居れり(大阪特電)

相場通信屋
取調べ

相場通信又は依託販賣に名を藉り事情に疎き地方の顧客を瞞着し相場の變動毎に賣買同盟會組織盛んに大袈裟の廣告を爲し種々の方法にて憑らず打手線を爲す者多きより東北兩取引所聯協力兩取引所部內の所謂相場通信屋の內情を取調べ居れり(大阪特電)

婦人と小供
信者を作て報恩
渡邊高等法院長夫人談

◇歐洲の一小國が生んだ波亂が全歐洲を渦中に巻き込み遂には世界の大動亂となり慘しい哀話が此處にもそこにも生れて來ます、我國でも近來各方面共戰後準備といふ嬉しい叫びを聞く事が出來るやうになつた事は誠に喜ばしい次第であります。

◇南米倉町の官舍に渡邊高等法院長夫人をお訪ね致しますと直ぐに應接室に通されました硝子窓を越に庭の青葉を通して勇ましいボールの響が聞ゑて來ます、夫人は落付きのあるそして淑やかな態度で椅子をお進め下さいました、『私はこの戰後準備といふ叫びに對して最も覺めなければならない人は先づ婦人でなくてはならない。

◇婦人は家庭の中心、大きく云へば國家の中心でなくてはならないと思ひますから、何かこれに關しての御感想でもお聞かせ下さいませんでせうかとお願ひ致しました、夫人は輕い微笑を見せて『私共別にこれと申してお話致しますやうな考へなんか御座いませんけれど……』とその一言一句に健實な信仰の色のこもつた次のやうなお話を承りました

◇私は餘り身體が丈夫でないもので御座いますので人樣のやうに立派なお世話は何一つ出來ませんけれ共教會の方のお世話は出來るだけ力を入れて皆樣のお庇護でどうにか致して居りますが私の考へでは只一人でも眞實の人を多く作る事が教會へ對しての働きだと存じて居ります、こんな事から各會員の家庭に居ます女中達に毎週集つて貰ひまして

◇精神修養につとめて居りますが他に何の慰安をも持たない彼人達は非常に喜こんで集まつて呉れますし又その效果もだん〳〵見ゑて來るやうで御座います

◇また一月と七月には鍬入りの如き方法を以て一日を愉快に樂しく暮させるやうにと考へまして教會へ集らせて修養を加味した種々な娯樂を催しますけれ共非常に喜こんで呉れるので私共の方でもどんなに嬉しいかわかりません、日本基督の婦人會では目下の仕事としては先づこんなもので大きい仕事の出來ないのはお恥しい次第で御座いますけれども。

◇慈善事業なども中々資金のいる事で御座いますし、しかし自國同情會など皆樣方の御盡力で立派に出來ました事など喜こんで居ります、まあ私共では一人でも健實な信者を作る事を以つて社會國家に對する報恩の一つと考へて居ります

◇荒んで行く今日の婦人界が戰後準備の覺醒の第一步にはかならずそこに何物もをかす事の出來ない信仰が必要である事は勿論であつて前記の女中達は毎週喜こんで教會へ集まつて來るさうです。思へばあの人は幸福な人達では御坐いませんか。

日本訪問の印度王妃
病氣靜養のため

印度ジヤヤンシ州王妃ナツリハイヤー殿下は十三日朝郵船信濃丸にて臺灣より門司入港神戸に向け出帆したるが右は病氣靜養の爲め風光明媚なる日本を訪ひ回復の後米國に渡航の豫定なりと(門司特電)

ダイナマイトを料亭に投ず
犯人嚴探中

十日の夜午後九時頃兼二浦料亭泉樓裏手よりダイナマイトを投じて便所硝子戸を破碎したる者あり黃州警察署に於ては巡査十數名を兼二浦に派し秘密の裡に犯人嚴探中なるが未だ就縛に至らず目下原因に就きて取調中此事件に關して嫌疑者として山手德藏及び李某を警察署に引致せるが犯人は猶他に潛むもの丶如し(平壤支局電話)

金庫を持出して破壞
兼二浦郵便所
公金盜難詳報

十二日午前二時より五時迄の間に於て兼二浦郵便所に賊忍入り大金を竊取したることは取敢へず電報したる處なるが今其の詳報を聞くに郵便所は兼二浦市街の中央にありて竊取せられたる金庫は所內事務室に据付けあり重量約六十貫餘の大金庫にて到底一名や二名の自由にし得る者ならず現場の模樣により推測するときは賊は數名にして同所横門より忍び入り所員の寢息を窺ひて金庫を大繩にて縛し長さ一間直徑三寸餘りの生松二本を以て擔ぎ同所を距る六丁餘橋本組バラク建のある與の谷間に持ち行き該金庫を石及び金棒により破壞し在りし公金六千八百圓及び私金五百圓を奪ひ尚五百餘圓の郵便切手及收入印紙には手の付くを恐れ現場に遺棄して行先を晦ましたるものにて此報に接せる黃州警察署長田部警部は直ちに巡査を率ゐて現場に出張し各所に非常線を張り犯人捜査中なるも未だ檢擧を見ず(十三日午後平壤支局電話)

強盜が目的か
貽封山殺人事件

既報貽封山(大鳳山は誤り)殺人事件の詳報を聞くに大田より錦山郡錦山に通ずる道路改修工事は昨年中より大田本町二丁目土木請負人尾氏の請負にて工事進捗中貽封山峠の開鑿工事は非常の難工事との評あり目下工事繼續中なるものなるが昨年冬頃より下請負人松本寧吉なる者河龜吉は同

▽峠の中腹に一戸を構へ內縁の妻內坂すみ(三三)と同棲し龜吉は工事場に通ひすみには煙草小賣等を商はせ來りしが去る十一日午後七時頃龜吉が工事場より歸り見ればすみの姿見ゑざるのみならず四邊の光景唯事ならずと見たるより屋內を調べ見たるにスミは血潮に染み

▽無慙の死を遂げ居るより直ちに附近の憲兵派遣所に屆け出でたるより大騷ぎとなり一方大田分隊に急を報じ藤井分隊長は下士卒若干名と醫師原孝一氏を伴ひ現場に出張し取調べたるが被害者は鈍狀器の物にて毆打されたるらしく頭部に二寸以上の打撲傷四五箇所あり外に

▽抵抗したる際に負傷したらしき五六箇所の刺創ある慘光景を呈した凄然たるものありしと聞く處によれば當日は工事賃錢の受渡しある日とて相當の現金ありし模樣なれば內輪の事情を知りたる者が強盜の目的にて侵入殺害せしものと見るべき理由あり

▽多分鮮人の所爲にあらざるやと思惟せらるゝも猶犯人は縛に就かず被害金額其他は目下取調中なり

手品の五圓札

兵庫縣姬路市片田町生れの井上茂一事村上桂木事光次(三〇)は京城明治町二丁目に居住し某生命保險會社の勸誘員に從事中四月二十七日新町飲食店瓜谷新太方にて一圓七十錢の飲食をなし五圓紙幣を出して剩錢を受取らんとする際店の者が多忙に取紛れ其の紙幣を其の儘置き忘れありしより直ちに之を懷に捻ぢ込みて同廓太平樓にて遊興費消したること發覺し本町署に逮捕さる

淸潔掃除

‖十五日‖

▲吉野町一二丁目 ▲古市町一圓

京城本町署管內左記町內は淸潔掃除を施行すべし

仁川の運動會
觀衆萬を數へし

仁川各學校聯合運動會は十二日の筈であつたが雨天のため延期し十四日午前九時より開催した當日は例年の通り運動谷は數百の棧敷設けられ觀衆萬を以て數へられた程であつた午前中は幼稚園の動作運動、小學校の徒步競爭、高等女學校の體操、商業專校の野試合等あり正午晝食

▽▲紅白の幔幕も美々しく

▼▲午後は各官衙會社等より押寄せたため運動谷は人を以て埋まるの盛況を呈した

靑年會講演

十五日午後八時より南大門通り一丁目京城基督敎靑年會に於て京城靑年會主催にて英人宣敎師ハリス博士及び石坂龜治兩氏左の講演あり

▲世界の大勢と吾人の立場 ハリス博士
▲品性論 石坂龜治

京城郵便局雇員採用試驗

同局にては雇員缺員補充の爲め本月十七日採用試驗を行ふべく科目程度は公文書解釋、作文、算術、習字にて高等小學校卒業程度なり

覆審法院給仕採用

京城覆審法院にて給仕數名採用するに付希望者は同院庶務へ申込むべしと

讀者文藝 (一等には五十錢の書籍券を呈す)

◇一口噺『時事』

先生『皆樣ラムネを腐らせない法を知つて居ますか』ラムネやの子『知つてます、レッテルを張り替へるのです』(一等) 水北竪野川 寒扇子

兵庫期米

東京期米特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

綿絲稍氣直る 米棉一圓五錢高 三錦十圓七十五錢 綿布

正米漸く軟化

策建て飽迄米價の調節を徹底

更に金融緊縮

軟味の潜

相場以上に增

愈々危險の度

洋灰は底强し

在荷缺乏

需給上格別の支障

石灰は好氣配

空瓶及空罐類

白ペデリ々安

下落せ 約三十錢方

宇治新茶初荷

下關相場

仁川正米

仁川期米

十四日前場 (暴落)

▲第一節 先二十二圓〇九錢と九錢安

寄付

放れ 一錢と五十錢大下

天二十五圓二十

大阪天候晴

八十錢 中二十一圓 二圓丁度引

八錢安 二十一圓八十錢 新安値に難平

落 買に支へ九十六錢

返し外國米管理令

依り更に低落を免

期米又復落

打擊を増大

不四錢の逆鞘

相場は演出

當中限買方の

强買据

市場雜觀

株式會社仁川米豆取引所仲買人
金田仲買店
仁川…

仁川米豆取引所仲買人
園仲買店
電話二八二 又は(カクシ)

仁川米豆取引所仲買人
栁仲買店

仁川取引所 十四日の七月限

釜山穀物(十三日)

釜山水產市場(十三日)

大阪甘米

仁川米豆取引所 十四日の七月限 二十一圓八十五錢

連絡船上陸客 十三日午前釜山入港新羅丸二等客

課題及募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等

天氣 くもり

曇り

▲十四日後場 大阪前止め二十五圓十錢後寄未著にて先限二十一八十五錢と十一錢
◇後場當限一節…　◇平均値〆九錢　◇中限出來不申　◇先限一節二十一圓八十五錢九十錢…

◆奉天に於ける陸軍大學生一行
陸軍大學生中將以下七十三名の戰史旅行一行は十一日の正午過ぎ遼陽より來奉した、寫眞は奉天驛に於て中々の出迎者に對する挨拶、當日は菊池大佐、宮地參謀長、舞川滿鐵公所主任等の出迎者があつた（奉天）

●日本思の義に勇む露國美人と

朝鮮人で配らな新悲劇

捕へられたる日本僧侶を助けんとして

先月上旬日本僧侶二名が過激派の爲めに捕縛されイルクックの監獄に投ぜられ、續いて邦人二名が拘禁さるゝと同時に一名の露國婦人迄が等しく獄に投ぜられたる事は未だ世人の記憶に殘つてゐる事であらうがチタ市からの歸客談に依ると此の露國婦人と云ふは目下チタ市で旅館兼下宿業を營む横田某と云ふ者の妻女で年齡は廿四五で非常に日本人思ひの美人であるとか、此の婦人及びチタ市在留邦人一同が或日のこと突然

日本僧侶が二名

過激派の手に依つて拘禁されたる事を知り非常に驚愕し直ちに一同相會して善後策に就て協議を凝す所があつた其の際其の席に連つた横田の妻女たる件の露國婦人は決然として自分が救ひに行くと云ひ出したので乃で相談一決し兎も角も此の大任を此の婦人と村岡某の二人に托す事になつたのである此時は既に僧侶達もイルクックに護送されて行つた後なので二人は準備を整へイ市に赴き、先づ僧侶拘禁に關係した過激派側の雇ひ通譯たる一朝鮮人と會見して大金を彼に贈ると云ふ條件の下に二人の拘禁者及び二人の身に付けた金並に貴重品の引渡し方の奔走を彼に懇願したのであつた。朝鮮人は二人の依頼に快よく應ずる旨を答へ且つ其の約束を履行する時を定め其の日は別れたのであつた。約束の日となるや露國婦人及び村岡某は約束の金を整へ定めの場所に行つたのであつたが之れは

鮮人通辯の計略の

罠に陷つたので定めの場所に既に過激派の兵士が二人の來るのを遲しと待ち構へ二人の姿を見るや直ちに捕縛して了まつたのであつたとか、以上は邦人拘禁事件のホンの大略にすぎないが、それにしても露國婦人の健氣な振舞には誰も彼も感動せぬ者は無かつたと云ふ次に西伯利地方の過激派の邦人に對する感情は此方で想像する程の事も無いさうだ、尤も疑はしい者に對しては嚴重な身體檢査邸宅捜索も行ふ樣になつたが

其の他の者には

敵對行爲は微塵もないさうだ之れに反して有産階級の者は益々日本信頼の念を強めて來た有樣である、之れに就いて滑稽なのは

彼等は最早基督を

拜がまぬ者はあつても日本の有難味を眞心手を合はして拜まぬものはない樣になつたとは西伯利から歸つた者の噺である（哈爾賓）

戰塵一束

◇國會を蹂躙せられたる◇
◆ウクライナと假政府設立◆

莫斯科よりの報に曰くウクライナの重大事件に就きクールスクよりの急報に依ればキーエフに於けるエイフゴルン將軍は勝手にウクライナに於ける總ての政治的自由の禁止に關する命令を發したるがウクライナ國會に獨逸將校兵卒を率ゐて臨席し議長の座席を奪ひ會議を中止せしめ大臣を捕縛したる事は既報の如くなるが此の時ウクライナ議會はエイフゴルン將軍の命令に就き協議の結果抗議を提出するに決したる處同日午後三時半頃獨逸軍の陸軍中尉は議長席に現はれ引續き獨逸軍隊は議事堂を包圍し二名の將校は議員等を威嚇し遂に殆んど全部のウクライナ大臣等を拘引しなり尚ほ同地よりの別報に依ればキーエフはウクライナ政府の代りに獨逸の保護の下に資産階級の政府設立せられたりと

◇義勇兵の募集廣告發表◇
滿洲里よりの報に曰くダヴリヤ前線に於けるセミヨノフ軍は依然として攻勢を執り今日迄進擊を續け居れり同戰線に於て大砲五門、機關銃四及び俘虜二百十三を得たり尚ほ滿洲里に於けるセミヨノフ司令部は四十五歳以下の義勇兵募集廣告を發表せり

◇ウヰボルグ占領せらる◇
莫斯科來信、ウイボルグ（ペトログラードの北）は芬蘭及び獨逸聯合軍の爲め占領されたり（哈爾賓）

●安東に突發せし

政變事件

◆新たに起りし自治團◆

商務總會の變形

安東縣王商務總會長等は從來の商務總會組織を變更し茲に我が自治團體の如き行政機關を組織し是れを治政團と命名し從來商務總會に於て執務し來れるものを引き放して該團體の下に置き商務總會は純然たる商業會議所となし以て市政運用の圓滑を計るべく計畫し著々準備を進め既に規約等も内々編成し了し居れるが方道尹高警察廳長等は是れに對し稍々反對の氣色ある由なれば多少官民間に動搖を見るに至るべきか

高廳長の辭職說

前項記載の如く自治團體たる治政團組織に關し反對意見あるかに噂されたる高警察廳長は王會長等と全然意見合はざりし結果其の壓迫により辭職の已むなきに至りて爰に數日中に辭職するに至るべしと觀測されつゝあり

道尹逃げ出さん

今回畫策されつゝある治政團は内容稍々複雜せるものある由なれば方現任道尹は初め之れに反對したる上其の趨勢日に非なる趣きなるを以て是れ又高廳長に引續き或は逃げ出さんかと觀られつゝあり兎に角に治政團組織に關しては尤も注目に値すべき一大事件なるの要あるべし（安東縣）

●獨立政府樹立と

支那側の反對

◆北京に運動せんとす◆

近來哈爾賓に於て一時立消同樣になり居たる極東獨立政府樹立問題の再燃しつゝある事は既報の如くなるがホルワット東清鐵道長官の晋京により猶一層熾烈となり今にも之れが實現を見るが如く種々揣摩臆說せられ居れるが中にも政治思想ある支那人間には非常に反對なるなし哈爾賓に於て獨立政府の樹立せらるゝに於ては之れ支那の主權を侵害するものなりと憤慨し密かに北京當局に向け之れが反對運動をなさんとしつゝあり（長春）

●吉林を目指して

◆入込む者近來夥だし◆

從來餘り邦人の發展を見ざる吉林も吉長線の滿鐵監理の下に移りし結果未だ何等の施設をも爲さざるに拘はらず前途を見込して邦人の入込む者甚だ多く我が領事館附近に於て家屋の建築を爲さんとする者も多數ありて同地は近來非常に活氣を呈し居れりと（長春）

各地財信

●仁川（鮮銀支店調査）

◇市況と米價 前月より高保合の儀を保ちたる狀況は新規材料の姿なり米價は突如として内地定期當中限停止したるも當地は僅かに一二十錢方下値を現はしたるのみで外さしたる反撥なく更らに下旬は◇外米管理令の發布あり一時斯業者に危惧の念を抱かしめたるが差當り鮮臺米には適用なき旨當局の聲明ありて氣配稍落著たるも本令による内地米價の決定せざる以上腰入れて新規商談を爲すもの少なく市場は稍へ値のみにて手合は多からず輸移出殊に北支那方面の出荷亦思はしからず廻著品の底入貸出の外一般に米穀資金の需用少なく一方◇輸移入側は夏物仕入れ資金として相當に荷受資金の喚起ありたれども月央綿絲布暴落の報を入れ更らに月末は印綿凶作に反動高を示せるも不需要季にて取引捗々しからず其他糖粉諸雜貨も高値呼にて取引漸くにて目星しき資金の喚起なく金融は恒例の月末小繁の外凡調に移せり是を仁川四銀行の◇月末帳尻に徵し前月に對比するに預金に三萬五千圓を増加し貸出は四十二萬二千圓を減少せり…

◇相場は氣拔の鑑なるも底堅く保合ひ神力上玄二十二圓五六十錢所を總始せり大豆は一時の熱狂相場より落込みたるも尚ほ大玉十九圓所を唱へたり月末在庫數量如左
玄米二三三〇〇石米（六〇〇〇）大豆（一二〇〇〇）其他雜穀共合計二八六〇〇〇個にして前月に比し五四〇〇〇個の減少せり

◇輸移入 綿絲布は内地暴落にて相場下向を誘ひ雜貨類は高値保持なるも市場取引は捗々しからず商況閑散に趣きつゝあり

●潤雨！喜雨!!!

久しく降らなかつた雨が十一日夕方より曇りだして到頭雨になつた、兎に角植付時期の切迫してゐる今日殊に野菜類に於ても斯く旱魃續きでは農作物に對する被害勘からず西鮮一帶の農民は之を憂慮して既に雨乞の計畫までする迄びになつた處が偶然其の夜八時四十分頃より一滴千金の雨が徐々降り初め十二日も降りみ降らずみ濡めッぽい天氣であつたので總々す草木の葉は青々と甦り、之れと同時に農民も喜び合ひ十三日も同樣であつたので播種も植付も出來ると胸撫下して此喜雨に感謝の意を表してゐた（平壤）

◇筍の終期 筍は昨今漸く終期に近づき市價亦低落な鶉し來れるが十二日平壤魚菜市場への入荷品は上物十錢普通物七八錢見當にて取引されつゝありたり（平壤）

●是からそろ〳〵

鯛の季節に

＝なつてきた＝

冬枯で四月の初め迄は火の消えた樣に寂しかつた仁川近海の漁況も日一日と青葉が繁るに隨つて愈々活氣付いて來た、今迄は名物の鰮許りで兎や角繁いで來た市場も漸く品數が多くなつて此頃潑剌たる紅色の鯛さへ見る樣になつた每年

●八十八夜 を過ぐると近海の鯛は仁川に集まつて來るのであるが時候と云ふは爭はれぬものもう近頃では每日少ない乍らも市場に此の待ち焦れた美しい鯛の姿を見ぬ事は無いも多いのは矢張り石首魚や鰈で鱝、ヒラメ或ひは

◆鳥賊に鰈 なども仲々多い、鯛が充分に獲れる樣になるのは此の月の末頃になると今の魚價は尚ほ一段と下向くのであるが春とは云つてもまだ魚は高い試みに大略の相場を聞くと先づ鯛が五十二三錢、鮃が十七八錢、鰈が十二錢、鱸が十八錢、鳥賊が十五錢、鯖は十三錢位で小鯛になると七錢、石首魚などは三錢位である。今月になつて出漁船の數が

◆一時に殖ゑて來たが前月迄は僅かに内地船三十隻朝鮮船四十三隻と云ふ數であつた前月末から今月にかけて出漁の繼續期で今年は餘程成績が好いとの事だから此の模樣で行けば豫期以上に豐漁に當るかも知れない前月仁川水産會社の水揚高は從業船の漁獲高三千圓に達し釜山其他よりの

◆委託魚類 は五千四百圓と云ふ數に上つてゐる、之が消費先は何處かと見ると京城が三割で仁川市内にて約四割を消費し他の三割は地方に發送した數量になつてゐる（仁川）

●魚が安くなつた

一時鰯非常の狀勢を持續し七十錢を突破したる鯛の相場は本月に入り何より漸く各地の漁期に入り殊に群山地方は鯛の豐漁を傳へ十日以來平壤市場への入荷多く十二日以場に其他は鎭南浦、りの鮮、鰈等若干の出廻りを見鮮は五六圓を稱へ居たり、尚ほ鎭南浦、濃川浦等の漁期に入りたるを以て本月下旬に於ては鮮魚相場は著しく暴落すべしと（平壤）

白山黑水

近來は在滿邦人も鮮人の滿洲だのと何んだか宿世の怨敵でゞも有るかのやうな拗ねくれた考へを持つてゐる者も段々なくなつた智識が進むに伴つて顧みて窃かに赧然たる人も少なくあるまい▲處が先頭も滿鐵社員なんて相當の地位に居ながら眞面目腐つて『朝鮮へ行くと路に立つてゐる巡査にまで丁寧に御挨拶をして通らないと直ぐ何んの彼のと文句を付けられると云ふ話であるが實際ですか』とイクラ朝鮮でもね▲こんな朝鮮に對する惡感を懷へる者を調べて見ると多く朝鮮から滿洲に來る者らしいツマリ朝鮮の喰詰め者が大變的に朝鮮に對する反感から滑稽に類する出鱈目を吹聽してゐるらしい▲近來抑々朝鮮から喰詰め者の渡來者が多いやうだそれも好い滿洲は廣いお前達を抱擁する餘地は充分ある唯眞面目でなければいけない（大連）

●肋膜炎病者を救ふ

水がたまつて苦しむ人
水がたまらなく惱む人

●此の恐るべき肋膜炎即ちプロイリチスを病みて苦しまるゝ人は呼吸をすると胸が痛む咳嗽が出る動くと呼吸が困難すると云ふ隨分厄介な病氣である此の病氣を速く治して健康になりませんと最も人に恐れられて居る肺病に成り易いが未だ之に能く効く良藥がない東京府下大森新井宿中江藥療所に於て是迄多年の經驗と學理上の研究を積み一の靈藥を發見し幾多の病者を救濟せしにより同病に惱む人はハガキにて御照會あれば自宅治療問答書を贈呈するとの事である

大特價販賣
呉服
第一・全・・・本週一流の良品が二割も安く買へ…一枚のおハガキは御滿足の基
セール 甲反拾四圓五拾錢 乙反拾圓八拾錢
御召 甲反…
名仙 甲…
大島紬 甲…
桐生 甲…
男帯 甲…
兵兒帯 甲…
兵兒帯 甲…
帯側 甲…
帯側 …
何れも本年の大流行品…
年齡男女の別を御申越し下さればに見計ひ代金引替にて…
大阪市東區北久太郎町…
中島合名會社

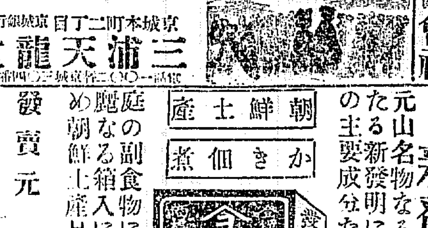
かつけ 血脚氣腫レシビレ
等で種々の手當や他藥の効なき難症者も…
名古屋市…新生館

懸賞尋ね人

原籍和歌山縣…
右の者…
金五十圓呈上可仕候
中村好藏

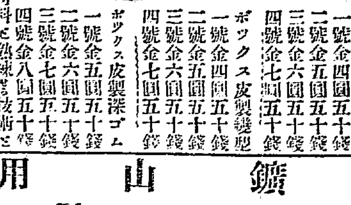
購買公告
一、大麥二千貫外二點
一、外套外拾點
右購買ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ熟覽スベシ
京城府

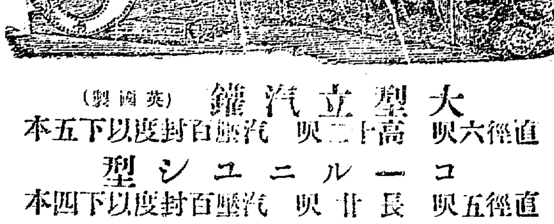
原料貸與職業
遠近男女誰にも出來る輸出パナマ皮ゴムの職業有原料貸與製品永久買受契約す利益熟練一圓五十錢迄確實詳細案内書御一報次第進呈す
大阪本町信濃橋東詰振替…
東洋物産合資會社
代理店募集

時計貴金屬寶石眼鏡商

地方の御注文は代金引換にて送る
京城本町二丁目 京城銀行前
三浦天龍堂

石油發動機 八馬力
ポンプ セントルヒュゲル 口徑拾二吋
鐵管武拾五尺 ベンドブートバルブ共
右割安賣却希望談顧上候
京城南大門通五丁目
器械材料商 中村幸商店

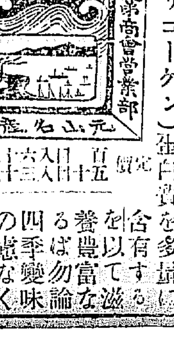
山葉、鈴木製樂器代理店
各種樂器 御小賣
京城本町二丁目 山口樂器店

安心の出來る靴

ボックス皮製編上 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス皮製短靴 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス皮製深ゴム 一號金五圓五十錢 二號金六圓五十錢 三號金七圓五十錢 四號金八圓五十錢
右は精撰せる材料を以て入念に製作し熟練なる職工にて最も好評を博し…
日野製靴店

鑛山用


大型立汽鑵 （英國製）
直徑六呎 高サ十二呎 汽罐百封度以下五本
コールニュシ型
直徑五呎 長サ廿呎 汽壓百封度以下四本
虎印青紙八角鋼朝鮮發賣元
中根式坑內揚水ポンプ製作發賣元
京城南大門外 中根商會 京城龍山兵營前 中根工場
所在地 中根工場

内科 小兒科
京城府明治町二丁目（本町江戸川横町より入る）電話三七六番
入院隨意
中島醫院
院主 中島貞信

特約店
京城本町 …
横山商會營業部出張所
池尻商店
鳥屋本店
矢上商店
發賣元
朝鮮土産 かき佃煮

新發明のかき佃煮
元山名物なる弊漁場の新鮮なる牡蠣にて特製したる新發明にして佳味高尚安價にして人體營養の主要成分たる（グリコーゲン）蛋白質を多量に含有するを以て滋養に富む…

庭の副食物には絶好の理想的逸品なり
旅の土産品には最好適品なり

英國グラスゴノーブル爆藥會社總代理
三井物産株式會社專屬發賣店（輸入元）
▽六十二度ゼリグナイト（鐵道工事用）
▽五十四度ゼリグナイト（鑛山採掘用）
＝爆發力强大＝惡臭及爆煙稀薄＝優良品＝
銃砲火藥卸商 三共商會
京釜線黃海驛前（振替京城一六五三）

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第七十五席

然に景虎の兄彌太郎晴景後彈正左衛門、府内の城主となつて威勢を揮ろひ、舍弟景虎の智勇を忌みてどうかして之れを滅ぼしたいと内々其用意に及ぶ、一族上田の城主たる尾越前守政景、同武藤守景春晴景の企てを聞いて表面同意をなすといへども固晴景無道にして酒色に溺れ、藤紫といふ女を愛して諫臣を斥ぞけ到底國を治める人物でないといふ事を知つて居りますから密かに景虎に心を通じ、其密謀を知らせる。景虎の謀臣宇佐美本庄を初めとして大に怒り、此上は府内の城を攻落し、晴景を亡ぼし主君景虎を家督に立てんと相談一決して愈々兵を擧げて取詰んとする、景虎大に驚ろき、兄に向つて弓を彈くは天道の咎め怖ろし、景虎兄に憎まれなば速やかに出家して其怒りを釋かんと已に城を出でんとしたまふを老臣押止め一方には景虎に謀らずして兵を進めて府内へ押寄せ晴景を攻立つた依つて景虎も今は之迄なりと出陣に及ぶ、兄彈正晴景大に怒つて防戰するといへども名に負ふ宇佐美の軍配、勇將猛卒に攻立てられて力及ばず遂に落城に及び、晴景火を放つて自殺を遂げました、景虎心なくも兄晴景を討つて府内の城を乘取り、長尾の家督に立ちましたが心中天の冥慮怖ろしく思ひ遂に兄晴景菩提のために髮を切つて法體となつたのは發人でありました、其後新山黒瀧を初め反逆の者共の城々を攻落して天文廿一年初めて國中太平と相成る、朝廷其功を嘉して從五位下彈正少弼に任官せられましたが居ながら官位を拜して恐れありと天文廿二年二月二十の兵を率ゐて上洛、此時景虎廿四歳、應仁の亂後天下麻のごとく亂れて都間近き大名すら、却々上洛して天機を伺ひ奉るは容易たらざるを、遙々越後國から途中の敵國を打通つて堂々として二千の兵を率ゐて上洛した其武勇は古今未曾有であります、當今後奈良天皇御感斜めならず、天盃を賜はつて倚室町將軍義輝公に拜謁を遂げ其年五月歸國いたしました、其頃は甚れ多くも大内は式微して御調度まで不行届きであつたのを景虎二度までも上洛して貢物を奉りましたのは勤王の志厚かつた人でされば其後上洛した時に義輝公より輝の字を拜領して景虎改め輝虎と申し、主上に於ても其志を嘉し給ひ、忝けなくも龍顏を拜し天盃を賜はり、從四位の下に任じ少將となり、粟田口藤四郎の鍛へし一刀五虎と名付たる一口を下し置かれ、天下を治むること一に汝に任すると勅定があつたといふほど、何ぞ數々の有難き御言葉を賜はつて輝虎感涙に咽び、歸國いたしました、されば輝虎一日も早く義兵を興し、京都に旗を樹て、天下一統の功を擧げ、一天萬乘の君の宸襟を安んじ奉り、將軍を泰山の治に置かんと焦慮するといへども其甲斐に武田あり、相摸に北條あり、何分此國々を捨置いて上洛する譯にはならず、止を得ず武田と兵を交ふる事になり、敗年の月日を空しく過ごしましたのは如何にも殘念であつたが仕方がない、其中雜髮して謙信と號し不識庵といふ生涯女色を避け專ら精進持戒して弓矢神の冥助を頼みました、之れは申すまでもなく兄晴景の妄執を晴らさんため、川中島の戰ひは別に茲では申上げませんが日本古來此上に出づる戰ひはないといふ激戰であつたさうで、頼山陽の詩に其眞相を盡してあります、序でに申しますが『鞭聲肅々夜河渡』と世間一般にいふのは間違ひで實は『夜過河』といはなければ不可ない日本樂府に明記してあります、其れは餘事ですが其名將の謙信公の御前へ塚原小太郎罷出で種々のお問に應じて物語りをいたしました。

五月十六日九星 四月七日癸亥 本命九紫南破佛滅

[illegible]

外科 皮膚科 一般 花柳病科 泌尿器科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 電話四一九番

明治町二丁目 易 周介石堂 岡村介石

りん病 ばい毒 プルーデサック
特効藥 一週分 金武圓五拾錢
男用一打 四拾錢 特製六拾錢
京城永樂町二丁目交番北 東京トラッグ商會本部

演藝案内

京城本町 壽館 電話一〇五〇
當る五月十四日より初日 浪花節應用身振芝居 市川小梅京一座開演
▲前狂言忠僕在助傳 [illegible]
▲切狂言玉川國太郎傳 [illegible]

黃金館 電話二六三七 二三六六
當る五月十日より第二回公開
▲喜劇『元和三勇士』 [illegible]
▲連續『ミラの秘密』 [illegible]
▲新派悲劇『情の炎』

有樂館 [illegible]

櫻井町 大正館 電話八七三
▲復讐奇談『呪の聲』
▲『假名手本忠臣藏』 [illegible]

京城壽町 壽座 電話五七八番
▲連鎖劇『裏牡丹』 [illegible]

岩崎大海堂サントニン菓子
美味なる 虫下し 最良藥
五錢 十錢 廿錢 五十錢
美味なる 虫下し最良藥 さんとにねくゃー
登錄商標 鷓鴣菜糖菓子
本舖 大阪天王寺鳥居前角 岩崎大海堂 △內外藥店にあり
主治効能
蛔虫諸症。疳の蟲。蟲熱。夜なきの蟲。乳あまし 蟲腹いたみ。疳熱の蟲 蟲胸あしく。勞熱の蟲 蟲せき。驚風の蟲
近來粗惡なるにせ物續出す。鳥居の商標と岩崎大海堂に御注意を乞ふ

山縣五十雄、村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城本町通 振替京城二〇〇番 日報社代理部

湯上りに

一滴ですぐ白くなる

純白美乳

金盥、石鹼、タオル、櫛―それから今一つ最も大切な純白美乳を用意してお風呂へ―風呂行なれば帶輕く、粹に結んだ柳髮、番臺の亭主はいつもの小町が浴りに來たご常磐艶居いの聲も高い、さても其の湯上りに一滴塗けた純白美乳は日本に初めて出來た美乳の姉妹美容料だけあつて洗ひ清めた皮膚の生地から白く美くし女湯のすべての視聴が期せずして其の人の上に集るほどのりうさした化粧料

家庭では―朝夕美乳。
外出の時に―純白美乳。

定價 純白美乳 貳拾五錢 參拾錢

本舖 大學白粉本店 矢野芳香園

何と言ふよいかほりでせう

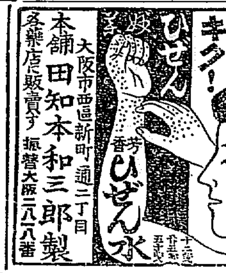
奥床しい上品な厭味のない香晶の薰は紳士にも貴婦人にも令孃にも學生にもあらゆる階級の人々に愛せられ喜ばれて居ります殊に御婦人方は帶の間や襟うらに携へ或はお髮に結び込み其清涼しき芳香ご爽快よき氣分とを珍重せられます

香晶は各地小間物化粧品店藥店雜貨店にて販賣して居ります

發賣元 大阪道修町 東京本町 藤澤商店

りん病七日藥
麻除 ●慢性淋病 ●急性淋病 ●女子淋病 ●膀胱加答兒 ●睾丸炎 ●尿道狹搾
麻除はいやでも治る奇藥也
七日分只一回服用せよ 說明書送呈す
大阪堺筋八幡筋北 山口藥院

あざ そばかす ほくろ いれずみ
●全治して喜び證狀山の如く着院す
[illegible]

ヨクキク!

芳香 ひぜん水
大阪市西區新町通二丁目 本舖 田知本和三郎製
各藥店に販賣す 振替大阪二八八番

金銀諸箔
黃銅鈴、齒科用金箔 無地金屏風、押紙
右各種製造發賣
京都市御幸町御池南入 堀 至善堂 振替貯金大阪六四四番

新滋養劑 レグモン

肺結核に對する理想的滋養劑として

レグモンの賞用せらるゝ理由

(一)其八十五プロセントは吸收せられ易き蛋白質なるを以て速かに榮養を増進し一般機能を佳良にし衰弱を防止す、
(二)肺結核に對し一種靈妙の作用を有するカルチウム鹽を含有するが故に病勢の進行を止め、食慾を進め、營養物の吸收を佳良ならしめ、血液の濃度を增す

其他レグモンは總ての病中病後の衰弱に極めて有効にして現今醫界の信認最も厚し

定價 百グラム入 金壹圓貳拾錢 貳百瓦入 金貳圓貳拾錢 四百五十瓦入 金四圓五拾錢

大阪市東區道修町 一手販賣店 武田長兵衛商店

汽車
京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線 仁川行 京城行 兼二浦線 京元線(北行) 同(南行)
[illegible]

京城日報
第五版
十五日朝刊（朝夕刊と併せて八頁）

大阪株式[illegible]
大阪米料 一七九、七〇
▲十四日後場 大阪前止め二十五圓十錢後寄不著にて先限二十一八十五錢乃至二十一錢
△二錢平均値〆九錢 △中限出來不申 △先限一節二十一圓八十五錢九十
今後場當限三節二十二圓〆五錢十[illegible]
六錢四錢五錢六錢五錢四錢三錢二錢一錢二錢四節〆四錢五錢四錢五錢四錢三錢四錢三錢二錢一錢二錢
均値 三節 二十二圓〆三[illegible] 値段 四節 二十二圓〆四錢

本紙定價 ▲一部金二錢五厘▲一ヶ月金五十五錢▲郵稅一ヶ月金十五錢▲三ヶ月分金二圓▲六ヶ月分金四圓（前金に限る）
廣告料金 ▲五號一行七十錢▲六號一行四十錢
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 京城日報社
電話 編輯 六千九十一番 營業 六千九十四番 振替口座京城三〇〇番

鮮滿在郷軍人會に望む（五）

帝國在郷軍人會理事 永沼中將講演

上りて是等の點は大分傾向が起まつて居る。或る地方では高等官何等の判事が軍人としては歩兵の一兵卒であつて、軍隊關係で停車場杯に送迎を爲す時には、雖々軍服を著て出ると云ふ樣な人もある。又或る市長や助役は軍人としては

△階級の低い 所に在ると云ふが如き場合は實際あるのであるが、軍隊では一兵卒であらうとも、何等恥づべきものでないのみならず、寧ろ軍人であると云ふその事が一種の誇であると思はねばならぬ。即ち社會的の働きと軍隊の階級とは何等關係がない。されば在郷軍人である以上は、之を表はす徽章を著ける事は當然であつて、徽章を著けるのは單に形式の問題ではなく其の精神を表はすものであるから、是非之を用ひる樣にしたいものである、形式拘はどうでもよいと云ふは一切の事に當嵌める譯には行かない、心があつたならば形に現はるべきもので、王陽明などは知行合一の說を唱へて居るが、內心正しければ外體直なりと申し心と身體とは一致せねばならぬ事を說いて居る。徽章は

△軍人精神を 表象するものであつて、其の精神は仕事の上や態度の上に表はれて來なければならない、內地に在りては今や立派に之を實行の上に表はし著々効果を見つゝある。朝鮮に於ても是非內地の如き成績を舉げ得る樣切に諸君の御奮發を望む次第である以上何等面白味のない、苦い樣な話を諸君は長時間傾聽された事は講演者の非常に滿足とする、ところである。どうぞ本日出席されない多數の會員には、諸君より以上自分の申述べた

△誠意の一端 を吹聽されん事を切望致します。之は在郷軍人會の役員として望む許りでなく我が帝國の前途の爲に切に之を望む次第であります

（赤根屋友三郎氏速記—完）

支那文學の變遷『三』

今關天彭氏談

この時に方つて文學界に新しい氣運を釀したのは詞賦といふものであります。前に申しました如く、漢或は諸子百家は皆議論文であるが、この詞賦といふものが出來た以後は言葉の綾を重んずる所謂る詞藻に重きを措く處の一大文脈が起つて參りました。これを創めたものは楚の屈原で、詞賦の初頭を飾るものは屈原の作つた離騷であります。この離騷は、屈原が楚王に忠ならむと欲して却て讒に遇ひ、竟に楚王に見放されて漂浪の人となつたのでありますが、流離顛沛の間にあつても猶君を忘るゝ折とてなく、物に觸れ事に臨んで我が思を述べたものであります。この離騷は詩經三百篇の後其の壯類を見ざるものであるとて非常に尊重せられたのである。屈原の門下に宋玉があつて、その高唐の賦神女の賦などは有名である。屈原や宋玉の作物は、響韻の巧妙は勿論、その使用した文字は頗る美しく、音調極めて流麗で、かつ品格を備へて居るから、詩賦の一門を開いたのも尤もな次第であります。この時代から詩歌の方面にも變化を生じて來た。即ち詩經の中にある詩は多く四言であつたのがこの時代から七言調が時々見ゐるやうになつた。

周が終つて秦の始皇帝となると、荀子の門人に李斯といふ人が出て文字を一變させましたが、何分兵馬倥偬の折であるから、曆一曆文字の簡略を要求する處から、程邈の作つた隸書の流行を見ることになつた。爾後の文學界はこれが爲に甚大なる便益を得た譯である。以上が支那文學の創始時代に屬する事であつて、これからは詞藻の流行時代に移ります。

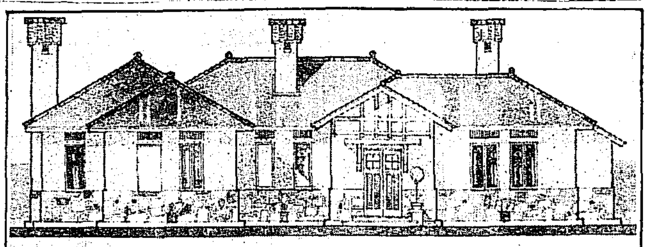
二、詞藻流行の時代

屈原や宋玉から開けた詞賦は、漢となるに及んで極めて盛んになると同時に一方には經學も亦盛んとなりまして、有名なる儒者が輩出しましたが、其の儒者も旺盛なる詞賦の勢力に動かされて、多くは詞藻を重んずる文章を作つたのであります。彼の漢初の大儒たる賈誼でも董仲舒でも皆賦頌を能くしたのを見てもほゞ想像が出來るのであります。從つて宗室の[illegible]分文學好きな人が出まし[illegible]け梁の孝王のやうな方が出て其の保護を受けた人々に司馬相如、枚乘などが現はれまして、竟に智識階級の文學上に於ける嗜好を形成して、漢初から唐末に至る一千年程の騈儷文の大きい流れを作つたのであります。そこで漢初から唐末に至る一千年の間を大體四つに區別して御話して見ようと思ひます。

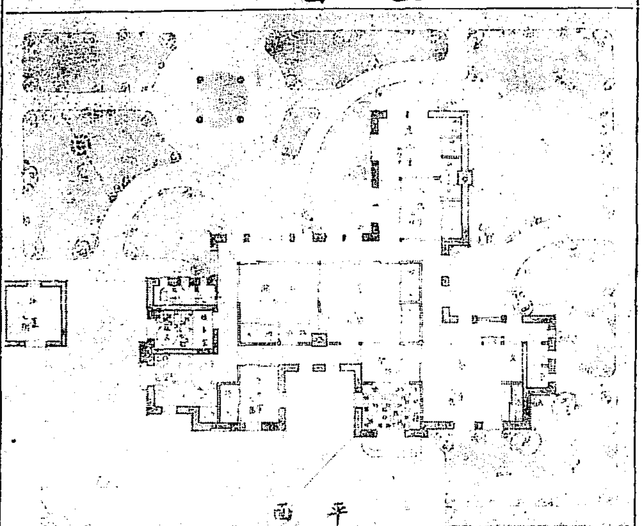
懸賞募集 防寒建築一等當選案

大連 高岩靜氏案

間定 建坪四十坪乃至五十坪＝家族は夫婦＝老人一人、子供三人、女中一人、計七人暮し、工費は坪當り百圓內外



正面



平面

朝鮮の書畫に就て（六）

鮎貝房之進氏談

次に光海仁祖頃鶴林正、李慶胤、李澄の山水、趙涑の花鳥何れも古畫の體を存して雅純愛すべき體があります。次には肅宗、英祖頃になりまして、追々支那明末清初の畫風が東漸し來つて鄭顥、沈師正、安世晃等が輩出して、支那元明の南宗畫を畫きました。これに屬するもので最近に田琦といふ畫工があつて能く元畫を咀嚼し純粹の南畫を畫き出しましたが、不幸にして夭折しました。又一方には畫院畫として正宗頃金弘道が出まして浙派風の畫に一種の朝鮮寫實を加味して人物畫、風俗畫を畫き別態の朝鮮畫を描出せむとしたが大成するに至らずして止みました。若しこれが獨立進歩したならば猶ほ我國に於ける漢畫に大和繪の如き進歩を見たでありませうに、朝鮮の國柄として獨立せずして已みましたのは甚だ遺憾な次第であります次に朝鮮の美術に對し非常な功績を垂れた人に就て一言述たいと思ひます。夫は李朝四代目の世宗の第三子であつて、李容安平大君であります。この人は書畫共に能くした人で、畫は私共未だ曾て見たことはありませぬが、書の方は澤山見た。實に見事なもので、李朝に於ける第一人者として許されて居るのも宜べなるかなであります。この功績とは何かといふと夫れは朝鮮に於て前後曾て見ない所謂朝鮮人にあるべからざる美術嗜好を有つて居た人で、支那の古書畫を多數に蒐めたことである。若し日本でこれに髣髴した人物を求めるならば恰度足利義政であらう併し其の內容を見ると、とても足利義政の君臺觀などの遠く及ぶものでないのである。夫れは東文選にも補閑集にも申叔舟の畫記にも出て居る。所謂御畫帖なるものが出て居る。其の大略を御話し致しますと六朝時代から元末に至る有名な人の書幅を約三百幅も所藏して居つたもので、一々畫記の中に書いてあつて品評が加へられてある。この人は若い時に矢張り支那に遊んで大に得る處あつて歸られたものと思はれるし且高麗朝の忠宣王以來、元の駙馬であつたものであるから、元から公主が來る時に色々な寶物を持つて來たものであるから、大半は此の人に收藏されたものとも見え。

愛劍趣味（九）

片岡鶴泉

楠正成の義兵を舉げたるは元弘元年にして新田義貞の北條高時を誅したるは同三年なり然して正成義貞の戰死は共に延元三年なり此に於ては楠正行戰死以後同十六年まで南北兩軍の京都奪取戰あり元中九年に至て足利義滿南北朝の和を議し後龜山帝京都に還御神器を後小松帝に讓り給ふ斯は第三期中の收取なりとす傳へ聞く楠公の愛刀は粟田口國綱にして尊氏は同吉光の脇差を秘藏せられ義貞戰死の時鬼切、鬼丸の兩刀を佩き居たりとは異說多し偖て南北朝の和睦より明德までの間は稍や小康を得たりしが應永より元龜天正に及んで群雄の興亡更に甚しく天正十三年には秀吉天下を一統して關白となり天下の名刀は殆んど豐公の手中に收めらる文祿四年豐公の朝鮮征伐までの間を假りに第四期と定め此の百九十餘年間の作刀は激戰的必要上鋭利至極の大業物を出したり即ち伊勢には村正美濃には兼元、兼定、兼光等、備前には康光、盛光、則光、勝光、宗光、清光、祐定等の全盛期なりしが戰國時代は需要の盛なるに從つて粗製濫造の數打物の多かりしことは大に注意を拂ふの要あり今試みに此の時代に於ける武將の佩刀如何と云ふに大友家の骨喰藤四郞（宗鱗代となり太閤に獻じたり）今川義元の三好左文字と松倉郷の兩刀上杉謙信の竹股兼光武田勝賴が最後まで佩きたる傳家の甲斐鄕と左文字の兩刀山中鹿之助の不動國行毛利輝元の千鳥一文字朝倉義景の吉光と長光細川幽齋の正宗井狩の青江貞次殊に信長は備前の光忠を好み同作二十五振を集め就中又太閤へ伊勢一國を以て關氏貞の刀に替へんとしたる如きは其の人の執心の外なし蓋し如上は何れも上代の古名刀に對する諸豪の愛蓄欲求たるべきも若し夫れ各自が[illegible]に信用せる其當代の鍛冶如何を詮索せんか武田家の御用を勤めたるは關一派の兼明にして信玄の時には二代目なり信玄自身の信用したるは月山派の有重、重宗及び相州傳の元成並に關の兼舍、兼房、照房、其他武州下原の照重、照廣外備前の祐定をも七八年間優遇したりと云ふ上杉謙信の扶持せる刀工は關の兼光と上州より移りし高重、忠重、及び相州綱廣門下の綱重、正信等なり

（能評抄）

◎六月と星（現代の科學）

◇水星（辰星） 始め曉の星にして日出前一時間半に東天に現はれるも彼次第に太陽に近づけ二十七日には此の星と太陽と及び地球は太陽を中央にして一直線上に來る

◇金星（太白） 曉の明星にして日出前約二時間半に東天に現はれ極めて著しき光を放つ

◇火星（熒惑） 日沒の頃に南中し次第に西に傾き天球上乙女座中に在り赤色一等星の光輝を有す

◇木星（歲星） 始め宵の星にして十六日頃より曉の星となれども本月は太陽に甚だ近くして觀測に便ならず地球よりの距離は十七日に最大

◇土星（鎭星） 日沒後間もなく西に沒して觀測に不便なり天球上雙子座に在り一二四等なる光度を放つ

◇天王星 水瓶座中に在れども光度小にして肉眼に映せず

◇海王星 蟹座に在れども肉眼に映せず

諸貴顯博士御賞用
特許 Xパイプ

煙草の毒は恐ろしいものだ如何なる努力を傾倒しても惡習慣に勝たねばならぬと萬人稱へる處は禁煙を斷行永續する者がない本會は禁煙を勵行すべく特種の誘導的禁煙パイプを案出す本品は在來の薄荷パイプ若くは他の禁煙パイプの比にあらず特に嗜好に向ひ心神を清適ならしむ亦愛煙家も本品を使用せば恐るべき煙草中毒を免る
（陸軍博士飯島中將推薦 製品の特許出願中）
特約販賣店募集
特製一組 一圓三十錢 並製一組 一圓 郵稅八錢 外地十錢
東京神田小川町一ノ五 大日本禁煙會 振替東京二三八〇番

◎ピータ 著荷
京城本町 電話四七五 二十七 龜屋

會員募集 漢學講義錄 講錄見本付 會則 新學期開講・速成一ヶ年卒業・會費最低廉 記念・特典提供・詩文添削・質疑應答無料 第四期募集 申込 東京神田區裏神保町二 帝國漢學普及會

日下部鳴鶴翁題字近藤雪竹先生書
最新刊 楷書前赤壁賦
美術木版 半摺和裝 金七拾五錢 送料四錢
大正書界の明星と仰がるゝ近藤雪竹先生は日下部鳴鶴翁の門に遊び漢魏六朝の碑碣を研鑽する實に册有餘年先生の書名日に高し嘗て弊堂より發行せし行書臨書帖の如き世既に定評あり先生の腕に成る本帖を發行せり請ふ速かに御購求あらんことを。
發行所 東京神田區南神保町 振替東京壹參八七貳番 精華堂法帖店

易斷 高島易斷本部主事高島吞明先生出張 受付午前八時より十一時まで午後二時より十時まで 場所 京城本町一丁目洞光館內（電話一三五〇） 神易協會 高島易斷本部

金鑛製錬手引草
（最新實驗）藤井郞著 布製菊判半截正價郵稅共上拾九錢
（記載概目）金銀の性質と精錬〇金の鑛石と處理〇青化法〇混汞法〇…
發賣元 大阪市東區上本町一丁目 工業と鑛業社

六月號 日本少年 相撲横綱栃木山の少年時代…次郎冠者 帆船にて太平洋を横斷する記…芳水 新猿蟹合戰記 小さな生物 我が國少年義勇兵…片上伸 決死敵壘突擊…一戸大將 露國少年義勇兵 四條畷合戰 善行週間…思水
定價一冊十五錢 郵稅 二錢 半年 七冊 一圓 一年 …

六月號 少女の友 少女小說 悲しき薔薇の歌 宇野浩二 恐ろしい貝を食ふ螢 宮島博士 妻君に水をかけられた哲學者 お世辭湯お斷り ゴム毬…水野 常識問題解答 貝拾ひ…青花 露國で逢つた少年少女 片上教授
定價一冊十五錢 郵稅 二錢

六月號 幼年の友 五段變りの繪卷 面白い衛生的寫し繪 富士山上天人の舞 日本郵便 北國のおばあさん 母の答寫眞の寫るわけ お伽繪噺毛虫の改心 のおいのり
定價一冊十三錢 郵稅 一錢
東京日本橋 實業之日本社

宮內省御用品本品の眞價は既に社會に定評あり幾多の名稱を冠したる類似品多く本品の胸部にはSWANの英字を刻印押捺せり
到る所の文具店に販賣中目下競争品多くにつき販賣店に御用命の時は最寄發賣元に御用命
目錄無代進呈
大阪東區平野町二丁目 スワン大阪出張所

星印ソース
今やいづれの御家庭にても星印ソースは御愛用になる
本品は其品質に於て實にソース界の明星なり
全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

水道 ポンプ 衛生器具 諸材料 專門製作 洗面器 便器 輸出入 工事請負 カタログ申込次第送呈
神戸元町六丁目 電話三〇四一

公告
京城府觀水洞二六番地 公賣物件 一 瓦葺二階 一棟 所在… 右公賣に付買受希望者ハ… 入札… 大正七年… 月十三日 京畿道… 高陽郡

定價表進呈

中村眼鏡店
京城本町 電話三四六番 振替京城三四六番

○支那留學生歸國事件 眞相

支那留學生の國事件は獨探元北京ガゼット紙主幹陳友仁の指嗾に由りたる事判明せる旨其筋より發表せり 北京ガゼット紙は獨逸人の經營にして嚢に連日日支國交に害ある記事を掲載し爲に發行を停止されしが後陳は上海に逃れ四月廿二日上海ガゼットを發行し自ら社長となりファー・イースタン・レビュー新聞のブライアン氏を主筆とし今回留學生歸國問題たる日支密約と題する二十箇條の條文を捏造し廿三日の紙上に掲載し日本留學生を煽動し日支間を攪亂せんとせるものにて他の支那新聞は是を轉載せるなりと(東京特電)

○不法軍人所罰要求

北軍は八日醴陵を恢復したるが其前後より市內全部に亘り掠奪盛んに行はれ加藤某の經營に係る病院にも奉天軍亂入し掠奪を恣にせるを以て我長沙駐剳領事は取敢へず不法軍人の所罰と被害金品の還附賠償金等を要求し且つ一般軍人の取締を斷行する樣嚴重に申出でたり(北京特電)

○廣東陸軍總長就縛

廣東軍政府陸軍總長張開儒は百萬元にて龍濟光に買收され居る事發覺し十二日廣東軍に捕縛され 同理由にて捕縛されたる次長は同日銃殺されたり(北京特電)

○山東省戒嚴令布告

張樹元氏は山東省に土匪猖獗の爲め十三日より全省の戒嚴令を布告する旨政府に報告し來れり 土匪の背後には民黨員潜み政黨を根據として活動しつゝあり(北京特電)

○北軍禮陵人虐殺

湖南北軍は禮陵を奪回したるが北際小兒を除くの外は何人を問はず虐殺せり是れ市民の南軍に通せる者ありと推定したるに依る因に外國人は續々避難しつゝあり(北京特電)

○獨逸講和依賴失敗

ウィルソン大統領に對し

獨逸は瑞西の大學教授を通じ非公式に米國大統領ウィルソン氏に對し此際講和を提議せん事を慫慂せるが失敗に終れり(倫敦電報)

○獨の對露新要求

獨逸大使は露西亞人民委員會に對し最後通牒を發し軍隊の解隊及び武裝解除並に莫斯科及び大露西亞に於ける若干の都市占領を要求せり(コペンハーゲン電報)

○墺國內閣員辭職

墺太利內閣員フォンゾクラニー氏はスラブ民族に對する壓伏政策に同意する能はざるの故を以て辭職したり(倫敦電報)

○第二次船鐵交換契約

十五日米大使と船主との調印を見るべし

第二次船鐵交換契約は十三日其筋に許可の申請を爲したるが多分十五日米國大使と日本船主側との調印を見る可し其の條件左の如し(東京特電)

▲交換汽船の速力 滿載十節半▲噸數 六千噸以上▲鋼材引渡場所 桑港停車場貨車渡▲汽船引渡期限 大正八年一月より五月迄▲交換汽船合計 二十四萬六千噸

大阪だより

▲石油輸入減少 本邦の石[illegible]る爲め需要著しく激增し世界產高十分の六、二を產する米國も[illegible] 本邦輸入額は四年の八百萬圓より昨年は五萬萬圓に減少し本年も輸[illegible]

電解用カーボンの缺乏よりして米國に之を仰がんとするも同國も亦[illegible]絕とにより印度南洋方面の需要激增し市場は日一日と高騰を告げ最[illegible]も多くコッピー學生用之れに次ぎ カソカン二百四十打入一箱[illegible]

大阪は相場立たず僅かに東京市場[illegible]きは高低幾動多きも目下は十一圓五十錢內外の安唱となり又苛性曹[illegible] 先月末相場持合にて變化なし

▲藥品幾部解禁 米國の化[illegible]部解禁を希望するものありとの事[illegible]今回苛性曹達、晒粉の[illegible]

○支那へ 侍從御差遣

今回北支那、中部支那駐屯陸軍部隊青島守備隊臨時青島防備隊及第七戰隊視察旁々將卒御慰問の爲め十四日侍從武官渡邊爲太郎氏差遣の御沙汰ありたり(東京特電)

○大山公爵來鮮

大山柏氏は壹岐丸にて十四日着釜し同十一時半列車にて開城へ向け出發せるが同地の都合にて滿洲へ赴き二十二日入京し陸軍大學生と共に歸東の豫定なり(釜山特電)

○共通法施行 決定

十四日內閣會議にて共通法施行期日を附議し六月一日より施行と決定せり(東京特電)

○鮮銀新株拂込

朝鮮銀行新株第四回拂込は來月四日より八日迄に完了すべく同行新株は是れにて全額拂込を終る事となれり(東京特電)

○阿部代議士

岩手縣選出政友會代議士阿部德三郞氏は十四日逝去せり(東京特電)

○鎭昌鐵道請願委員

鎭昌鐵道速成請願委員たる鎭海の山田半二氏は十四日馬山發京城へ向ふ豫定なり(馬山特電)

○議員視察團一行

代議士視察團一行十三日午前十時半來安停車時間を利用して市內其他を視察し直に北行せり驛には官民有志の送迎多數ありたり(安東特電)

○咸北郵便局長會議

咸北郵便局長會議は十五日より三日間元山にて開催の筈にて持地遞信局長官は十三日會寧より來て同會議に列席す(元山特電)

○期米の暴落

仁川又二圓を割る

外米管理令の運用影響並に政府が金融緊縮政策を執るに至れりとの說は大阪期米の暴落を誘致し十四日の前場は先限安値二十五圓二十一錢高値二十五圓二十四錢にして前日に比し五十錢安を示し 仁川の期米又復二十二圓臺を割つて二十一圓八十八錢に落ち更に引返して高値二十二圓十錢に戻りしも尙ほ低落を免れざらん

◉議員視察團感想談(二)

信の一字 秦豐助氏談(政友)

吾輩は故曾禰子の統監時代に、一度朝鮮に來たことがある、吾輩が[illegible]縣の內務部長在職當時のことで、漁業に關する調査やら漁業權取得の交涉やら種々の用向を帶むで來たのだが、其の頃に比べると朝鮮の發達は目覺しいものだ、元來朝鮮は日本の力を以て文化を進めらるべき宿緣があるんだね、瓊々杵尊が慶州に駐蹕されたなどゝいふ傳說もある位で、確に內鮮人は同じ血統だよ、京城で幼稚園を觀た際、內地人の子か鮮人の子か孫かゞ日本語の唱歌を獨唱したが、之を聞いた時、吾輩は得も言へぬ ▼感慨に擊たれた、夫れから辭去するに當つて、一行中の誰かゞ『左樣ナラ』といふと、其の園子の子供が大きな聲で『左樣ナラ』と對へた、一行は皆な喜むだ、此の喜びに引かへ實に厭な感を催したのは、裁判所で死刑宣告の場を見た時であつた、姦夫姦婦が本夫を殺した爲めに極刑に處せらるゝのだが、聞けば朝鮮には此種の犯罪が多いさうだね、原因は種々あるであらうが、年齡の釣合はざる婚姻が其主因である樣に思はれる、何分十一二歲の腕白盛りの少年に配すに、妙齡の婦人を以てするのが通例らしいが、之では無教育な女が生理上の理由から不貞を行ふのも一圖に悄む譯に行くまい ▼早婚の弊も 矯めねばならぬが、年長の女を配すことは一層弊が多い、此處で吾輩は僞らいふ議論を爲たくなる、夫婦、親子、兄弟の間柄は、愛や信の源泉であるのに、人妻にして不義を働く者の多いのは、社會上甚だ寒心すべき現象である、縱し夫婦間愛は薄くとも、信があれば不義は行はれない筈だ、其の信こそは文明の主たる要素を作すものである以上は人を啓發せんが爲めには、何うしても信の一字を其の胸臆に植ゑる必要がある、若し之を害ふの虞あるものは細大を問はず芟除せねばならない、年齡不釣合の婚姻の如きは先づ以て ▼差止むべき ものであらうといふんだ、イヤ話が大分理に落ちたから、是位で止さう、處で此頃東拓の評判は何うだね、何時でも餘り好く言はれぬ會社だが、……ナニ不評判の間は政友會が力瘤を入れて支持して呉れたので切り拔けた、然るに近來大に活動はするし、其施措は適切である爲めに非常に評判が好くなつて來たから、政友會でも此上ウンと援助することにして貰ひたいつて、左樣、ソレは其の間違つたことさへ爲なきやア援助するサ

○地方長官會議(第一日)

地方長官會議第一日は十四日午前十時半より永田町首相官邸に開會寺內首相以下各大臣(水野內相を缺く)各次官(山田陸軍次官を缺く)中村鐵道院總裁有松法制局長官岡田警視總監大塚朝鮮總督府參事官廣瀨臺灣總督府通信局長牛塚內閣統計局長西岡樺太廳理事官內務省各局長監察官俵北海道長官井上東京府知事以下四十三名の各府縣知事出席寺內首相より別電の如き訓示演說あり午後二時散會せり(東京特電)

▲寺內首相訓示要旨

現內閣成立以來茲に一年有半內外庶政略其目的を達し今後議會の協贊を經たる凡百の施設に著手せんとす今や時局紛糾極東多事ならんとする時政府の所見を披瀝するは欣快とする處なり、今や時局重大上下質實勤儉將來に備ふ可きに際し世俗浮華に浸潤する傾向あるは寒心に堪へず、政府は

官紀振肅に就き

嚴に戒飭したるに拘はらず瀆職の罪跡、收賄の疑獄續出するは最も遺憾とする處なり政府は廉潔己を持し時弊を救濟せん事を期す諸君亦意を體し適當の處置を執らん事を請ふ本年度財政計畫に於て政府は國防充實を骨子とし此財源として明年度以降國債償還額五千萬圓を三千萬圓に減額し剩餘の不足額を所得稅、酒稅の增率と戰時利得稅とを以て補塡し且賦課に當ては負擔力を顧み稅源の涵養に努めたり、徵兵令の改正は兵役義務の均等を計りたるものにて軍需工業動員法、軍用自動車補助法を制定せるは皆國防充實と相俟つ處のものなり

●我國教育の根本

は忠孝を經緯とし健實なる國民を養成するにあり卽ち此目的に副はん爲め臨時敎育會議を設けて制度の革新を計り猶高等專門學校を擴張し義務敎育費の一部を國庫に移し教員優遇の途を啓きたり、產業の奬勵は最も緊切とする處にして工業原料たる鐵、石炭、棉花、洋毛等の需給を攻究し化學工業の發達、運輸交通の利便を進め民間商工業の發達を期せり、猶船舶管理令を制定して其調節を計り且つ鐵道輸送力を極度に增進し、貨物の集散を迅速ならしめたり、物價騰貴

▲就中米價の暴騰は

國民生活に至大の困難を及ぼすを以て政府は人爲的に昂騰を防止し最近外米管理の制度を布き調節の目的を達成するを期せり、國民思想に就ては昨年諸君に注意を促せるが時局の推移と共に東漸し來る新思想は必ずしも我國體に合致し我國民を善導するものゝ而已に非ず帝國の國是は世界の文明を消化し皇運の隆盛を圖るにあるは維新の詔勅綱として日星の如し所謂新思想に就ては我國體に鑑み愼重に考慮を要す可く殊に經濟界の發展に伴ふ生活難に刺戟され國民思想の變化を來すもの無きに非ず宗教の普及、國民道德の涵養等の急務なる所以なり

▲國際政局は益々

重大を加へ、西歐戰場は決戰的戰鬪を繼續しつゝあり、露國の紊亂は尙ほ安定せず、影響極東に及ばんとせり、支那は帝國善隣の友邦にして極東の平和は兩國の親善に依りて全きを得可く、政府は速かに其內政の統一されん事を希望して已まず、然るに近時往々日米支の國交を離間するが如き蜚語頻に行はれ地方人心を惑はさんとす、國交上最も寒心す可し、本大臣は此機會に帝國聯合與國との協調益堅實にして共に最終の勝利を希望するものなるを聲明し猶

▲極東平和を維持

する爲には帝國の責任益重大なる事を自信しつゝある次第なり、最近內閣の進退に就き世上種々の批評する者あるも不肖 陛下の御信任を享け其局に膺るを適當なりと信ずる間は假令、何人が如何なる事を謂ふも、誠心誠意、輔弼の重任を全くする覺悟なり、諸君に於ても左樣御承知あらん事を。

◉中村都督出發

入京中の關東都督陸軍中將男爵中村雄次郞氏は十四日午後七時五十分南大門發列車にて東上の途に就きたるが驛には山縣政務總監、美濃部鮮銀總裁、入見鐵道局長、久保京管局長其他官民多數の見送りありたり

◉井上博士講演

既報の如く國民道德普及會長井上圓了博士の入京を機とし本社は朝鮮教育研究會及び雜誌朝鮮及滿洲社と聯合主催にて二十六日午後三時より京城高等女學校に於て講演會を催ほし教育及び妖怪學の講演を請ふ事とさせるが當日は一般人士の來聽を希望す

◉山本鮮紡重役

朝鮮紡織重役山本條太郞氏は十四日朝釜山著の豫定なりし處遽に用務出來のため途中山陽線より引返せりと

◉徵兵受檢者と旅費

朝鮮に於て徵兵檢査を受けたる者の住地より檢査場に至る往復旅費は從來自辨なりしも本年度よりは官費支辨に改められたるを以て總督府より本年四月龍山、元山、羅南、平壤、釜山、咸興、義州、大田、大邱等の各檢査場に於て徵兵身體檢査を受けたる者に對しては右旅費支給すべき筈にして目下各受檢者の住所取調中に付き六月頃支給の運に至るべし

人事消息

▲レーデンサン氏(蘭人長崎貿易商) 十四日夜入京朝鮮ホテルへ
▲ヌンドーク氏(英人上海貿易商) 同上
▲馬淵剛英氏(馬淵大理石株式會社支配人) 同上 天眞樓へ
▲本田近三氏(神戶貿易商) 同上
▲拓殖嘉邦氏、內田周吉氏 十四日夜退京南行せり
▲島田利吉氏 十四日夜退京

◙巨關百話◙

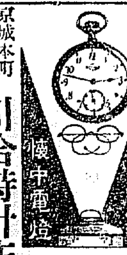
米國のシェーンツ、パリー君と云ふのは其國でも島渡知られた文學者であるが▲同君の書いた字と來たらイヤハヤ何うも解りにくいので有名な▲其處で同君に先の字は何うも讀めぬがと聞くと先生當り前サと云つた顏附で▲一體僕の字を讀み切る君はあるまい▲併し君ウェリントン公なぞも矢張りさうだつたよ公の手紙が判らんので持て行くと自分の書いた手紙が御本人にも何う見ても判らぬ▲書いた時は解つて居るが書了へると判らなくなるのだ▲而して君は自分にも僕の字は暗號だと云つて居る相な▲支那留學生は續き歸國したらしいが中には旅費を懷中すると行方不明になつた連中もあるとか▲之と島渡似た逸話がある何でも駐佛大使の松井慶四郞君が外交官の試驗に及第して何處かへ赴任の前夜の事である▲君は旅費を握ると行方不明になつたと云ふのは實は北廓へ飛び込んだ▲までは好かつたが運の惡さには翌朝から酷い熱が出て歸られないので▲先生一策を案じ朋友に事情を打ち明けて見送に新橋驛に集つた連中には急用で一列車先に立つたと誤魔化して貰つて置いて▲二三日經つてからそつと大森驛から出發したのは振つて居る

本人ヶ短期養成し成功の途を授く 校外生 本科生 專科生 募集 規則を請求すべし
八収分後新設紀念特典として莫大の收入を得れ必ず 技師販賣 東京京橋南紺屋町 自動車學校

玄米 精米 購買 詳細官報ニアリ 龍山陸軍倉庫 五月十五日以降

滿員御禮 降つても照つても毎夜大入 ミラの秘密 第三回を十七日公開 十六日限り御見落しなき樣 黃金館

強 ダイヤ本舗 壹圓九十錢 チユーブ 同八十五錢 耐カ五千哩以上保險附 安 い て
其の他上中下種々有之候 カタログ御申越次第送呈 大阪西區北堀江御池通六丁目二七 大阪ゴム製造所 電話西一九二四番 振替大阪二七〇五番
26 28 時の二種あり小包送料實費申受


京城本町二丁目 川合時計店 電話二九一八 振替京城三一九

最新刊
書名 著者 定價
○支那の眞相 法學士大河平隆光著 定價一、七〇
日本債權各論(上) 鳩山秀夫 一、五〇
債權各論分冊第二卷 磯太郎 一、九〇
金剛山植物書 森爲三 四、〇〇
生活の花 長與善郞 一、四〇
誰れにも出來る最新寫眞術 上田竹翁 九〇
村上浪六著 ○縮刷世間學 九〇
婦人問題より見たる女子大學批評 一條忠衛 一、〇〇
作法文範作文大觀 內山月技 一、〇〇
これこそ本當の商賣 今野 一、二〇
實驗自宅療法 病氣を早く癒す法 武智 一、〇〇
死の謎に 打勝つ 富士川游 一、〇〇
林氏中等數學代數教科書詳解 五〇
參の平內 長編小說 三五
飛行少年 お伽噺 七〇
金谷二三郎著 ○算術自由自在 定價一、四五
京城本町三八 大阪屋號書店 二〇八六 振替京城二五七三

外科 內科 小兒科 皮膚科 花柳病 島崎病院
京城旭町一丁目(本町通り左に入る) 電話二七三六番 入院隨意 診察夜九時迄 院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一

眼鏡專門

△弊堂特色 レンズ精撰 技術精巧 品位確實 價格低廉 親切勉强 (詳細定價表發行す)
京城南大門通一丁目二二番地 宮川大學堂 電話二九五九番 振替京城壹壹貳九番 (眼鏡製造工場子弟入用)

京城電氣會社製 特約販賣 コールタール 龍山漢江通り八 電話四九番 金物商 島田忠作商店

實用新案特許 第四五〇八號 豐田式蠅取器
◉蠅取器(一個六十錢)◉

硝子製の如き破損の憂ひなく又自動蠅取器の如く高價ならず永久使用に勝へ蠅のよく捕れる點に於て本品を推奬す
製造發賣元 和洋金物商 京城本町二丁目 釘本藤次郞本店 電話長四五、二七七四 振替口座京城二五六番
地方特約店募集す

瀨戶外科皮膚科醫院 京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話二四九八番 (診察夜九時迄) 醫學士 瀨戶潔

AQUEOUS SANTAI-PAINT
水性三泰ペイント
水性三泰ペイントとは現代に於ける理想的塗料なり
水性三泰ペイントの特色及効用
三泰ペイントは塗布後乾燥非常に早く(三十分位にて手に附着することなし)水の特質を備へ而も時日を經過するに從ひ益々其特質を發揮す故に室內は勿論浴室其他屋外に露出する面の塗布に耐ふ加之耐火性にも富む之れ他に比類なき所とす
三泰ペイントは土壁、セメント壁、煉瓦、石材、木材、金屬等如何なるものにも使用する事を得其塗布能率は一罐(一五封度入)少くも四十五坪乃至五十坪以上を塗り得べし
三泰ペイントは如何なる濕氣をも悉く隱蔽し高尙優美なる色彩を呈すると共に延ぶるも他に比類なきよりして日時を經過するに從ひ益々其凝結力を增し堅牢となる之れ他に比類なき所とす
三泰ペイントは時日の經過と共に決して變質又は變色せざるのみならず却て貯藏久しきに亘れば其品質を優良にし凝結力及塗布能率を增すを以て他に比類なき所とす
▼色見本御入用の向は御一報次第郵送可仕候
製造元 大連 株式會社 三泰油房
朝鮮一手販賣店 京城長谷川町 中田普成社 電話二一〇五番・振替京城四六二七番

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二七三 一二九〇番

時中年々五百萬圓乃至八百萬圓の輸入ありしが時局後船舶用軍用及び發動機用を始め各方面に應用せら少の傾向となり目下石油產高少き國は石油の供給缺乏を訴ふる狀況なる爲め油價は益々奔騰の狀にて後市價の騰貴より本邦に於て輕銀製錬に着手するもの相當多きを算し漸く事業緒に就くに至りたるが

▲輕銀製錬頓挫

△紙ナフキン類 手帳海紙 ナフキン類は製紙原料薄の爲め本邦製造元の一時手控へと獨逸品根絕の爲め…の倍額を示しナフキン尺一物千枚ダース二十九圓より色物三十三圓五十錢相場にて帳簿はカンカン最出依然不能なる爲め市況閑散にて

△小麥粉閑散 小麥粉は輸…

△工業藥品弱含 工業藥品は近時一般安氣配にて石炭酸の如き…圓に低落し曹達灰も同樣の理由にて先月十五圓五十錢の相場は十四圓內外に低落したるが硼酸加里は曹達灰の如きも一向荷動なく過剩の爲め斯業者の禁輸に依り少なからざる影響を被る狀にて政府の一…輸入荷する米品到着の上は尙低落すべき氣構へすらあり(大阪支局)

●懸賞募集防寒建築案の審査を了へて

審査委員長　芳賀博士談

◇採暖裝置は重要な研究問題

京城日報社が防寒建築案を募集したところ各方面から頗る眞面目に應募し其數百餘案に達したと言ふ事は如何に此計畫が時代の要求に適應して居たかと證明される

◆懸賞案を審査 するに當つて主眼としたのは、建築費は坪百圓まで家族は七人で老人子供がある家庭向きと言ふ條件の下に衛生上、經濟上、建築上理想的に合致したものを基準としたのであるが應募案を審査すると南に面した方に居間を取り便所とか女中部屋とか應接間等は北寄りになつて居るものが多く採暖裝置は

◆南向きの日當りの善い部屋にはペーチカ北向きの女中部屋とか食堂には溫突、平素用ひない應接間にはペーチカか暖爐を採用したものもあつたが間取りや採暖裝置が重要な研究問題だけに應募者は何れも此點に特に深い注意を拂つた模樣であつた、それから建築上からは＝で有つたらしく深い注意が拂つてあつた

◆美術的である と共に實用的で防火設備も整つて居らねばならないので審査上衛生に適つて前記の諸點の配置が標準に合つて居るものを採つて當選としたのである、自分は審査上別段お力添へにもならなかつたが審査委員諸君の熱心な御努力に依つて

◆審査を完了し 紙上に之を發表するに至つた事に就いては委員長として其勞を謝さねばならぬのである尙今回の計畫が如何なる効果を齎らすかは今更喋々を要しないが朝鮮にはまだ都市の建築條令が規定されてないから將來立案でもされる時は此の當選案が當局の參考に供せられるであらうし又

◆新たに建築を なさんとする一般の人々のためにも好模範となるであらうことを信じ世人が比較的理想に近い京城日報式防寒建築案を應用せられん事を切望する者である

●飛行機百廿臺購入

＝福岡飛行場敷地買收了る

飛行界の活躍＝明年三月飛行開始

陸軍省にては本年度豫算にて飛行機百臺山下氏の寄附金百萬圓にて同二十臺を購入するに決し米國に註文を發する事と爲れるが一方飛行場の新設を爲す可く既報の如く福岡縣三井郡太刀洗村附近にて五十萬坪の敷地を買收せり明年三月迄には全部の工事を終り飛行を開始す可しと(東京特電)

▼日本第一の平野に

＝福岡平野に九里有明海に十里

陸軍航空隊にては既に所澤を第一大隊とし愛知縣各務ケ原を第二大隊に而して最近問題となれる八日市の民間飛行場を陸軍航空隊第三大隊敷地として寄附する事あり尙九州地方に陸軍航空隊根據地選定の議ありしが今回突如

▽兩筑平野 の中心地たる朝倉郡馬田村同三輪村三井郡太刀洗村の一部を劃せる平野に陸軍航空隊第四大隊根據地敷地を決定され去九日以來第十八師團經理部より關係土地買收に着手し根據地に出張し交涉を重ね居れるが陸軍側の

▽豫定敷地 は朝倉郡馬田村百卅二町三輪村卅町太刀洗村十六町合計百八十町(五十萬坪)にして其間人家一軒もなく大部分は桑畑にて其位置は朝倉軌道沿線新町甘木の各停留場より西南方孰れも約廿丁の內に當り甘木川は場の東方數丁の距離に流れ居れるが同地が

▽飛行場に 好適地たるは夙に何人といへ共之を認むる處にして附近地域の關係は日田に通じ西は脊振山に達する四里の平地あり北は屏風山一帶の地域に對する三四里の平野となり東北は古處山馬見山に至る四里の平地あり西北方に約一里にして城山の聳ゆるあるも此を除けば二日市福岡方面に對し九里の平野となり又西南方

▽有明海に 至る十里の平野となり居れば其城山(標高百卅米突)の一丘陵を除く時は或は日本一とも見るべき大平野なれば當局が同地を撰定したるは故ある事にして昨秋の大演習に際し連日南北兩軍飛行家が同地の天空を翔りて親しく實地を檢べられ一方九州の飛行場として工業地たる福岡縣に屬し

▽朝鮮支那 方面に對しては對外的の位置にあり九管線二日市驛より約四里朝倉軌道此間を通じ物資の供給としては甘木町あれば飛行場候補地の各要件を具備せるは素よりにして設置の曉には第十八師團の管轄に屬する筈也(福岡)

●獨飛機の巴里襲擊

潜航艇で危險な大西洋の航海

總督府醫院小兒科長　河野衛氏談

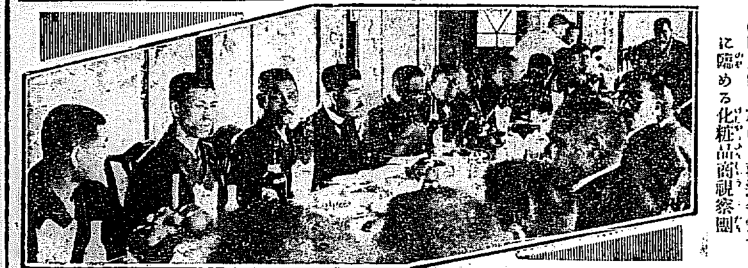
一年三月目に瑞西から歸つた總督府醫院小兒科長河野醫官を十四日夜京城驛に迎ふ、夫人令息その他の出迎へがあつて却々の混雜中趣の深い話しは後日に讓つて其旅程の概略を聞く、容貌から態度まで生眞面目な裡に輕快な滑稽味を帶びた氏は語る、去年の三月八日に光州の宮家余州の古城兩醫官と京城を出發して露西亞經由し瑞西に

◆英佛を通過 つた恰度大河內子や加藤恒忠氏等の貴族院議員と一緒になつたので色々な便宜を得て仕合せました瑞西には彼是十箇月ばかり留まり三月の末に同地發佛蘭西から亞米利加に船で渡つて四月八日紐育上陸米國は通過で一箇月目の五月八日に橫濱上陸道草を喰はずズーと歸つて來ました、往復の途中並に瑞西滯留中の見聞は色々あるが話しは少し落ち附いてからにして頂きたい

◆歸路巴里を 見物する積りでゐました所、恰度私の瑞西を立つ少し前から西部戰線に於ける例の獨逸の大攻勢が始まり驚天動地の修羅場を白佛國境方面に現出した事とて獨逸飛行機の巴里襲擊は殆んど間斷なく行はれ街路を步いても爆彈投下のため危險を感ずると云ふ狀態で巴里の市中は火の消えたやうな有樣で極度の恐怖に襲はれて居り、ソラ飛行機だと云へば市民はすぐに

◆地下室へ逃 げ込むと云ふ實狀だから却々落ち付いて巴里見物も出來ません、實際頭上にプロペラーの音高く飛行機が飛んで眞向から襲はれては此の位恐ろしいものはない、私等もその怖い洗禮を受けた樣なものです、又佛蘭西から亞米利加に船で行くにも初めの間は佛蘭西の護衛艦が吾等の乘船を護つて獨逸の潜航艇の攻擊に備へて吳れましたが好い按排に件の怪物に出會さず、恰度夜も燈火を船外に見せず諸々として航海を續くる事三日、

◆漸く危險帶 を脫しましたと云ふ報を得てホッとしました、獨逸潜航艇の橫暴は近來何か衰へてはゐるらしいが何ほ聯合國の船の沈められる、數は決して少なくない、何でも潜航艇と汽船が正面に相對するやうな事になると船は潜航艇の發射する水雷のお見舞ひを避ける事は不可能らしい、然し後方から追かけて來られたのなら船の左右操縱により大抵は水雷の打突かりを免れる事が出來るとの事でした、こんな有樣で此頃の歐米間の旅行は命がけです



◆明月館に於ける歡迎午餐會に臨める化粧品商視察團

●妓生の磯節

＝明月館の歡迎會

◎秘苑茶菓饗應

それよりパコダ公園へ

一行は景福宮の視察が濟むと直ぐ商業會議所及び京城在住の同業者並びに各新聞社聯合主催の歡迎午餐會に臨む時に午後一時會場は

◎明月館 の三階樓上である主客合して約五十名夫々着席すると釘本商議副會頭の挨拶、來賓側を代表して東條松五郎氏の答辭があつて直ちに酒宴に移る一行は初めて朝鮮料理を味ふ事とて卓上の料理を一々珍らし相に眺め

◎『是は神仙爐と 云ふものです』『成程』『此方にあるのはキミチ』『成程』と主人側の說明に從つて一口宛試みると云つた調子、一行には神仙爐が一番口に合ふらしくスプーンは自然此方に向ふ其中に國語に通じた妓生が四五人、御愛嬌に磯節やラッパ節を謠ひ出すと一同が手を叩いて

◎大歡び 『何より彼より之が一番好い土產です』と云ふ有樣に主人側も明月館を選んだ効があつたと悅ぶ夫から妓生の舞踊があつて午後二時頃解散したが繁華な都會から來た珍客にはピンからキリまで朝鮮趣味を發揮した明月館の宴會は非常に氣に入つたらしかつた、明月館を辭した一行は夫より更に腕車を驅つてパコダ公園に向ひ

◎加藤淸正が鐙を かけたと云ふ塔を見た上昌德宮を訪問秘苑の風光を探り宙合樓で茶菓の饗應を受けて昌慶苑を一と巡り、中央試驗所を視察して夕景巴城館に引き揚げた、十五日は自由行動を取り午後七時五十分の列車で出發し釜山に一日滯在視察した上直路歸東の途に就く筈

●郵便局長收監

大阪府下西成郡柴島郵便局長三川淳英は四百五十圓入赤行囊紛失嫌疑にて收監されたり(大阪特電)

●列車內で頓死

米國の軍人か

十四日午前六時半安東驛着の列車內にてブレンナン(三〇)なる者就眠中腦溢血にて死亡し居るを發見し乘り合せたる成田醫師の診察を受けしめたるも既に事切れ居たれば如何ともする能はず安東米國領事に屍體を引渡せり携帶品中、林公使より渡せる北京より長崎に至る査證を又愛蘭海軍省行公文書を所持し居たるより見れば多分米國海軍の兵曹なるべしとの事也(安東)

●度量衡檢査

京城本町警察署にて五月六日より十一日迄檢査したる度量衡器總數は約一萬三千個ばかりありしが內尺類一千四百五十三個の檢査に對し廢棄せしめたるもの百三十四個枡類は二千六百七十七個の內不合格にて廢棄したるもの二百十六個秤類は八千二百五十二個の檢査に對し不合格廢棄七百九個ありしと

●怪獸娘を攫ふ

十日午後八時頃全南光州郡林谷面發任里姜秀方を襲ひ同人の娘姫(六つ)を攫ひたる怪獸あり急を聞き付け附近の民は手に手に松明棍棒などを携へ怪獸の後を追跡したるも遂ひに取逃がしたりと右につき目下光州署に於て搜索中なるが件の怪獸はヌクテ若くは虎なるべしと

東京大相撲

三日目(東京支局特電)

勝　負

長門洋(吊り出し)鶴ケ濱
朝見藤(掛け投げ)花ノ山
金龍(叩き込み)小田ノ山
錦錦(押し切り)射水川
玉州山(頭捻り)朝綠
野柳(押し切り)太刀嵐
殿り(預り)錦洋
友ノ浦(押し切り)大ノ里
大ノ高(捲き落し)若常陸
逆鉾(引き落し)土州山
大門岩(はき手)敷島
宮城山(掬ひ投げ)大戶平
一港(寄り倒し)鬼鹿毛
釋迦嶽(上手投げ)黑瀨川
駒泉(叩き込み)明
大汐(捻り)逆ノ矢
淸瀨川(流れ込み)源氏山
九州山(休み)三杉磯
栃木山(持出し)彌高山

中入後

岩木山(渡し込み)矢筈山
藤ノ川(打棄り)宇都宮
御西山(浴せ倒し)浦ノ濱
常ノ花(押し倒し)琴ケ浦
大鳴門(上手投げ)綾川
對馬洋(捻り)錦島
朝汐(突出し)福柳
千葉ケ崎(寄り倒し)八甲山

右の內▲大の里に友の浦友鋭く突き張り進むを土俵際に殘して敵の兩腕を取り打乘りしも已に土俵を踏切つてのゝちとて友の勝▲大の高に若常陸は若より突張つて押進むを大の殘して廻り込み二本差せば若これを閂に極めて極め出さんとする際綺麗に捨つて大の勝▲大門岩に敷島は右四ッ一氣に寄り倒して大門の勝▲逆鉾に土州山は突き合ひ土州懷ろに飛び込まんとするを引き落して逆の勝▲宮城山に大戶平は宮城右を差して寄るを大戶泉川に撓めしが利かず左四ッとなり宮城の寄り進むを大戶捲き落しに行きしも利かず掬ひ投げを打つて勝▲一港に鬼鹿毛は右四ッ一港チヨッと上手捻りを見せしが利かず寄り合ふ內寄り倒して一の勝▲釋迦ケ嶽に黑瀨川は左四ツ釋迦頭を下げて右上手を引き寄り合ふ內釋迦寄り進み上手投げを打つて勝▲駒泉に明はチヨッと突き合ひ明の突いて出るを叩き込んで駒の勝▲大汐に逆ノ矢は逆突張り右を差して寄るを大潮強引の小手投げを振りしが殘つて突き合ひ逆再び右を筈に當てゝ押す汐潮土俵を廻つて殘しが渡し込まんとするを捨つて大潮の勝

▲源氏山に淸瀨川 はバッタリ右四ツ源氏吊身に寄るを淸瀨殘しつゝ首投げを打たんとしたるが源氏殘して再び吊身に寄るを淸瀨、掛けに防ぎそのまゝ靠れ込んで淸の勝▲九州山に三杉磯は休み▲栃木山に彌高山は右四ツ栃木寄り進み彌高首投げを打たんとするを抜き上げて高々と持出し栃木の勝

中入後

▲岩木山に矢筈山は岩木烈しく突張り矢筈のタヂロぐ所を左手を取つて渡し込んで勝▲宇都宮に藤の川は宇都宮烈しく叩き進みつゝ外掛けに行きしが殘して藤の勝▲浦ノ濱に御西山は右四ツかく浴びせ倒して御西の勝▲琴ケ浦に常ノ花は突き合ひ常嫌つて突き合ひ琴を常の花當てゝ押し倒し常の勝▲綾川に大鳴門は右四ツ互ひに左を外掛けに浴びせ倒し御西…大鳴門は一合して鳴門下手投を引いて鳴門の勝▲對馬洋に錦島は對馬洋右上手を引いて寄り進み上手投げを打ちて勝▲對馬洋に錦島はバッタリ進み…手投げを打つて物言ひつき土俵に流れ審判は預りとし追つて協會にて取扱ふことに決したり▲福柳に朝潮は雜作に突き出して朝の勝▲千葉ケ崎に八甲山は右四ツ寄り倒して千葉の勝にて午後六時十五分打出

△四日目取組

錦洋・鬼鹿毛　達ノ矢・七州山
大ノ高・大戶平　綾川・釋迦嶽
敷島・黑瀨川　琴ケ浦・彌高山
八甲山・宇都宮　駒泉・逆鉾
矢筈山・源氏山
中入後
千葉崎・常ノ花　錦島・栃木山
藤ノ川・淸瀨川　浦ノ濱・柳
御西山・大鳴門　大ノ里・潮
明・岩木山
三杉磯・宮城山
朝潮・對馬洋

▼九州山休場 九州山は二日目彌高山との角力にて左の肩を痛め休場せり

圖春場所幕內星取表

(○勝●負や休×分△預)

東方	西方
[illegible]	[illegible]

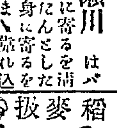
送金手形無効廣告

▲手形種類爲替手形 ▲第壹八〇號 ▲金額金百參拾圓 ▲振出日附大正七年三月廿八日 ▲受取人持參人 ▲支拂地群山 ▲手形名宛人當行群山支店

右送金手形紛失ノ旨屆出ニ付自今無効トス

株式會社十八銀行京城支店

稲麥扱



實用大好評 全美比大把の扱落に事も最新式の麥扱界の一大革新也 進呈 機具全說明書及表御一覽 東京本所長崎町一六 日本機具發明獎勵會

京日案內

普通五十錢(一回前金) 番外一圓(一回前金)

▲申込後中途掲載中止の節は料金不返戾 ▲六回以上の御申込は特に割引のこと ▲御照會は返信料添付にあらざれば回答せず ▲御照會は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通

●商業卒業者 年齡廿才前後 日鮮人武名入用 南大門通り五丁目 電話二八一〇番 安藤商店 93

●電話賣物あり 百代の三箇 分り安きもの 御希望の方は 電話一三七一へ 東京堂 87

●牛乳配達人至急入用 (電話九十二番) 京城蓬萊町四丁目 東京牧場 55

番外

●外勤希望者御來店委細面談 履歷書送られたし 京城本町二丁目一〇 內外證券

●鑛山事務員採用 高等小學校卒業程度の者希望者は履歷書携帶來談あれ 京城本町五丁目五二 三浦 60

●質屋廢業 京城若草町四十番地 まるさん質店 92

●古家賣却六棟 御希望の方は五月十六日迄に左記へ申越されたし 龍山漢江通 間組 91

男女外交員採用 數名(金錢扱関係) 本人直接來談あれ 黃金町二ノ一四八 明星商會 95

恩給年金 長期低利立替 短期八箇月 保險ヲ要セズ 此際四年分迄 京城日出町十一前 日之出學校裏門前 吉田屋 36

社員招聘 日鮮人以上身元確實の者 外交の確信有紳士 履歷書持參委細面談 京城南大門通丁目 同和生命保險株式會社京城支部

年金恩給 最長期低利極安前立替なし ▲四年半迄保險不要 商品陳列館前 京城永樂町 江州屋本店 45

勸業債券高價買入 一般乙買入値段返信す 市外は御一報 京城太平通一ノ一二三 電二七九三番 朝鮮產業社 54

靜岡名產 わさび粉 湯で溶し四分間密閉し置けば香色辛共に生わさびと同樣 時に使用し得無比珍品 一瓶三十錢 京城永樂町一 63

店員入用 但し十八歲迄二名 京城本町二丁目 織田東洋舘 78

店員入用 十五歲より二十歲まで 京城本町二 松菊屋小間物店 94

會社併合公告

當會社は大正七年五月八日開催の臨時株主總會に於て朝鮮水產株式會社を合併し其權利義務を繼承するの決議致候に付右に對し御異議有之候債權者は本年七月十日迄に御申出相成度商法第二百二十五條に依り此段公告候也

株券提供公告

當會社は大正七年五月八日臨時株主總會に於て朝鮮水產株式會社を合併の決議致候に付元朝鮮水產株式會社株主は本年八月十日迄に全部の株券を當會社へ御提供相成度右期間內に御提供無之候節は其株主たる權利を失ひ候條右了承被成下度此段公告候也

大正七年五月九日

東京市日本橋區本町四丁目九番地

輸出食品株式會社

編上靴　一枚革深ゴム靴

値段は高いが龜田の靴なら安心との世評よりいくら申上ても言葉は言葉だけですそれよりも品質の語るが何よりの證據と云ふ事が知れます

▲CBA程編上靴金九圓五拾錢 編上靴金八圓五拾錢 一枚革深ゴム靴金七圓五拾錢

御注文の節は御足形を紙の上に描き且つ常に御用の靴の周圍を御書き添へ御通知の事

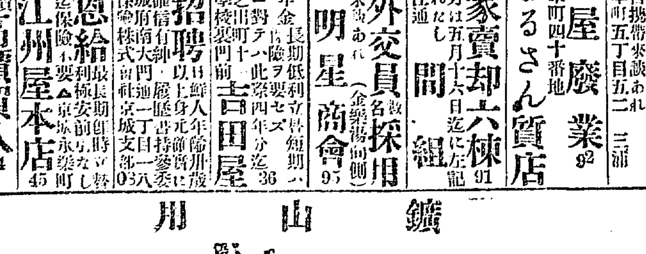
▲營業品目錄寸法用紙御報次第進呈

電話芝二二〇八 振替東京四二七八二 東京芝愛宕下町四丁目 龜田靴商店

▲平壤京谷商店製 耐火煉瓦販賣

京城古市町 苫米地商店 電話九四一、三〇八番 振替京城五一三番

鑛山用



大型立汽罐(英國製) 直徑六呎 高十二呎 汽壓百封度以下五本

コーニッシュ型 直徑五呎 長廿呎 汽壓百封度以下四本

虎印青紙八角鋼朝鮮發賣元 中根式坑內揚ポンプ製作發賣元

京城南大門外 中根商會 □ 京城龍山 中根工場

所在地 中根工場

▲夏物製造開始▼

洋燈類各種 鐵道用硝子 船燈 氣瓦斯セイド 理化學用硝子器 標本瓶各種 各色菓子器 食器類一式

瓶類特約店

總督府御用 京城電氣會社 各官衙 岸機械部 山京城林町

小野玻璃器製造所 京城 電話二七九一番

小野玻璃器販賣部 京城永樂町二丁目 電話二八七九番

村上瓶店 京城黃金町二丁目 電話二三三四番

花吹雪
大阪 中谷青霞

（三十一）

『清兵衛か、近う進みやれ。』

『突然のお召し、何事かと取るものも取敢へず推參仕りましてムりまする。』

御前に伺候して恐る／＼平伏したは、月岡家の名物男井戸清兵衛。

頼母は年齢四十七八、額廣く眉長く眼光頗る柔和に、温厚面に顯れたる相合、質素を極めた茶紵の袴に奉書紬の羽織、八本骨の扇膝に突いて、緞子の褥を少しにじり出た。

『清兵衛、お事を呼んだは外の事でもない、此程隅田堤で建部殿子息と刄傷にも及んだとやら、其儀おや、彼是噂も耳に入る、有樣心痛も致して居る次第、其場の紛紜委しう聞きたい、清兵衛、さゝつゝと進みやれ。』

『は、其儀早お耳に入り、清兵衛何とも恐れ入りましたる儀、某胸中只御推量に任せまするの外ござりませぬ、なれど御心痛とは何事か仔細ばし起りましたる儀と存じまする、身不肖には厶りますれど井戸清兵衛、お家の大事ともおはさば一命に代へても殿樣御迷惑はさせ申しませぬ心底、恐れ乍ら其儀ならば御心痛御無用で厶ります る。』

『いや其邊の事は未だ何とも痛心の仔細はない、清兵衛心配は無用ぢや、なれど寄々の噂に彼是とも物議致す有樣巷路の浮説取止めた仔細も聞かねば其儀に打捨て置いたが、幸ひの手隙、直々お事から其夜の事共委しう聞かうと思ふまでぢや。』

『左樣でござらば申しまする。某主税之助樣お供申して隅田の漫歩、きは既に御存知の事、折から茶店に建部樣御子息兵馬樣町奴の群れに取卷かれ亂離の體、見ぬ振りに打過ぎて彼是暇申したを、町奴の手先共が咎め、兵馬樣を煽動し思設けぬ云懸り、打つれて斬てかゝる理不盡の暴狀、若樣お身に事あらせてはと三平に申し含め、俤ひ返し後は某只一人、白刄を閃かし追取卷いて斬りかゝるを、拔く程の相手にも厶りませねば櫻の大枝を得物に渡り合ひ、二三合も打合したと思ふと、町奴共は早雲を霞と逃げ去り兵馬樣は大醉の餘り只一人後に殘されて疲勢の體、引起して塵打拂ひ輕々しいお行爲を懇々と御意見申したを、何う聞き瀰めてか不意の扱打、已む事を得ず利腕取て引捻ぎ、建部樣お邸に送り届け、御門の衆にお手渡し申したまで、有樣は右の次第、して殿樣には如何やうお耳に入りまして御座ります。』

『清兵衛、確かとそれまでの事か……。』

『微塵詐りは御座りませぬ。』

『はゝゝなれば何の仔細もない事ぢや、兎角世間は大業に云囃すもの、最う可い／＼、清兵衛大儀最う退りやれ。』

『は、恐れ乍ら殿樣御心痛は…。』

『む、何もない、退つて可いぞ。』

『は、なれば御免を蒙りまする。』

清兵衛は何とはなく心殘して引退がる、引違へて一人の小娃。

『御前樣、建部樣より急の御狀で御座りまする。』

と緋房の狀箱を差出す、頼母眺と見て。

『建部殿からとな、む！』

と眉を顰め乍ら狀箱の蓋取つて、讀み下すと今宵自邸に茶宴の招待、見れば公狀でなく私用の文言、聞及ぶお家の寵臣井戸清兵衛殿とやらも御伺伴ある可しとある。

さてこそ横車の押がゝり、鼻柱取挫ぐは易けれども後の祟りも又面倒なり、はて此紛紜を如何にして無事に納めんか、何よりも家こそ大事と由來温健の分別に長けたる頼母、兎やせん角やせんと稍々久しく思案の腕をこまぬきしが、聽て吐き出す息は頗る力なき體、歎息の聲と共に。

『あゝ、是非もない儀ぢや。』

日報歌壇

旅泊漫吟 鎮海 夕潮生

征矢川の落ち行くところ海見えて舟は動かぬ雨の夕ぐれ

目は入る蕗うすき夕雲のかゝれる方や京城なるらむ

てどろなる我が物思ひ庭に出でゝ今朝こそ見たれ山梨の花

ひたく〻さ今ぞ寄せ來る夕潮にうつりてかなし春の夜の月

月影は入江のあしの葉に落ちて卅の細道行く人もなし

初夏 よし二

うつらうつら夢ゆさむれば初夏の過つみ山はさみどりすなり

夕さりて厨に魚が焼き居たる香しきりに匂ふ

向ひ家のトタンの屋根に初夏の陽を浴びて居たり小さき佐

うす暗く瓦斯の灯さもる初夏の宵を匂ふよ花屋の出居

たゞならず心亂れてこの頃は湯氣の音にもかなしむ初夏

牛乳 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

日報俳壇

春季雜詠 ていー

井戸掘りの塊に飛ぶ蝶かな 同
花一面に月照る丘の石碑哉 同
表よりボール飛び來ぬ苜蓿畑 同
寺辭して傘に音ある落花哉 同
往還の淡き埃や苜蓿畑 同
鮎汲に夕陽が燃ゆる瀬上哉 同
太石の根のぐるりなり苜蓿畑 同
山吹を生け居る姉に呼ばれたり 同
額長き僧の讀經や彼岸寺 佐多女
佛壇の灯に白き彼岸團子哉 同
縁に出て磨ぐ佛具や木の芽風 同
自動車の後に雉子發つ街道哉 同
蘖や永雨晴れて光る池 同
青麥に月出でて白き流れかな 同
青麥に啄む數の烏かな 同
噂りや納屋の下堀る餘所の犬 笛木
雀語せる雪解の驛や朝明ら 同
薫摘みつゝ土手傳ひ行く生徒哉 同
敷深く地に喰入りて韮かな 同
涅槃會や山を背負ひし低き寺 同
縁の日に明き障子や二日灸 同
茶釜沸ぎる大爐古りたり二日灸 同

□湖南吟社句會 大田 於風骨廬
課題 鶯 涼し 鮓 麥嵐

鶯啼くや水辺り飛ぶ投げ小石 不倒
五ヶ村に水の分れや鶯涼し 同
流れよごむ谿間／＼や鶯涼し 同
殘睡の眼に水走る鶯涼し 十京
鮓の石手燭に暗らき桶の尻 同
麥嵐晩雨となりけらし 同
麥の風秋に入る日の曇かな 同
鶯涼し湖畔の家に朞の響 靜山

讀者の領分

▲京城の市中に此際大運動場を建つるのは適當なり（中略）し乍ら靑年諸君のための遊戲場を何れへか早く設けて戴きたい運動場には金杯又は噴水等の器具を作りしならば公園もさぞ賑はふだらう一刻も早く建設さるゝ様切望する次第なり（奴之助）▲私の家の近所に牛肉屋が二軒もありますが天氣の惡い日はいつもヘットなどこしらへるが臭氣鼻をつくばかりです何とか其筋の御注意を願ひます（本町三丁目總代）▲光化門附近のある產婆は鐵山熱にうかれて本職は手に着かぬさうな產婦は注意なさい尙自分の字以上のひげ男さおミさんを使役して毎日十時まで寢てゐて飯たく事も知らぬさはよもや女ではあるまい（心配生）▲朝鮮銀行の營業部支拂係さんが先日同行の取引者に對し先日預金引出の際十圓札を拂つたので一圓札と交換して呉れと依賴せし所面倒臭いから小切手の裏面に書いて來いとの由にて次回に五圓札十枚と裏面に書きし所今度も矢張り面倒臭いといつた顧客に對して實に無禮な事である（京城吟誰生）▲本町二丁目にいつも乍ら朝肥車が來て道路に肥車が置かれてある時に依ると監車居る事がある警官等も朝之れを看過乍ら行く警官たる者今少し注意して肥車を徹底的に入て貰ひたい者だ（無名氏）▲大和町前の女事務員は外の男事務員や驛渠の商店の小僧等とフザけて事務を等つて居る所長さんの御參考まで（御折介生）▲土木局勤任技師の資格なき以て黃金町和愛生に答ふ改正道路の下水の格子蓋は暫時の間木枠を以て之に當て今後は鋳鐵附合枠を設置すべく御安心を致されい（門外技師生）

新刊紹介（到着順）

▲國民飛行（三の五） 長岡中將を會長とせる國民飛行會の機關雜誌にして萬人向きの加快にして趣味深き飛行上の話と滿載し埋理と實地とによりて興味ある飛行の談を面白く敍吹したるものなり（二十錢、東京飯田町二の三國民飛行會）

▲海紅（四の三） 諏訪丸より（碧梧桐）手紙論（中塚一碧樓）人類の滅亡（神原泰）雜錄、蒙集句、小品、朝鮮と遠路五十 章向作、消息等（十四錢、東京市谷上根岸八二の二九井社）

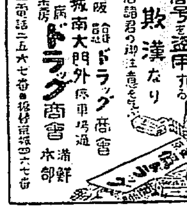
▲住宅（三の五） 當面設計圖當選發表號として一等當選 大神浦上氏の二等川栢氏）の答案あり其他住宅庭園に關する新研究の記事豊富なり（十錢、東京芝愛宕町一住宅改良會）

▲活動寫眞雜誌（六月號） 一千圓懸賞當て嵌め懸賞ア來る新聞を作れ、懸賞谷崎潤一郎に與ふる書（過勞）來國活劇の舊より（通俗に生ける屍を許す、活洗外五氏）外に探偵劇、新派悲劇、戰劇、時代劇及び世話物等の活動寫眞の實寫入說明十一篇と活動界の面白き消息及び評判記等（三十錢、東京赤坂一ツ木六五其社）

京城本町 千代田號印舖 電話九八七番

醇良清酒

大阪府堺市 釀造發賣元 肥塚源次郎
京城本町一丁目 電話長二九番 特約販賣店 佐藤牧太郎

京城龍山等各地に僞物有御注意 詳細は昨日の本紙を御覽
◉りん病ばい毒 患者諸君 ワにせドラッグあり御注意
近來東京其他各地に僞ドラッグ有り睛着せられざる樣御用心あれ當京城に於ても左記以外にドラッグ商會と稱する者あらばそれは全く詐欺漢なり
吾が商號を盗用する商店の諸君の御注意を乞ふ

本舖大阪 京城南大門外停車場通 花柳病專門藥房 ドラッグ商會 朝鮮本部 電話二五六七番
京城黃金町三電車通 龍山漢江通停留所 同 大阪ドラッグ商會支店

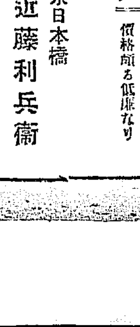
強胃消化錠 マーゲン 本舖 大阪市本町 田畑保榮藥房
特約店 京城南大門通二 新井藥房
大阪上本町五 田畑保榮藥房

にきび 皆樣どうせられますか
色白藥 毛生藥 脫毛藥
發賣元 東京 日本化粧品株式會社

通經新藥レスノリン 月經
發行所 常盤藥院

日本及歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸最新藥 ゲチスン
食慾が進まない時に食慾を促す
元氣が衰へた折に活力を與ふ
貧血のものには血流を補給す
精力の非進と體量の增加を促す
現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる
◉說明書進呈◉
東京本町 藥種問屋 四城商店

偶然に非ず
目下日常化粧衛生用石鹸として帝國陸海軍、帝國大學、赤十字病院、慈惠病院、鐵道院等を首め一般社會に最高の信用ある品質本位
花王石鹸は
化學的に經濟的に徹底せる廉價の良品なるが故なり。
花王石鹸製造元 東京馬喰町 長瀬商會
同香水關西代理店 花王石鹸關西代理店 大阪安土町 大崎組商會

內外人の上流社會に喧傳愛賞さるゝ
純國產 牛久赤白葡萄酒
畏くも 宮內省御用命の光榮に浴し
同時に 伏見宮 華頂宮 久邇宮 梨本宮 各宮殿下の御家庭より御料として御買上の榮を蒙る
光榮

品質優秀價格低廉なる所以
本品は茨城縣牛久神谷葡萄園に移植せる佛國種優良生葡萄の實より搾取せるまゝの生葡萄酒にして品質最も優秀加之運賃關稅等の諸費は一切不用なる爲め隨て亦價格頗る低廉なり
東京日本橋 近藤利兵衛

下關期米 十四日前場
大阪 十四日後場 當限寄付 二十五圓四十一錢
安に寄付九十七錢と跳ね四錢二厘
當限之五錢より十二錢先九十三錢
折柄大阪前寄ノ九錢の入電あり
五八錢三節に至り大阪二節十九錢
仁川米豆取引所 十四日の七月限 二十三圓八十五錢